

平成 20 年度 河川レンジャー年間活動経過報告

平成 21 年 2 月

福島出張所管内河川レンジャー

菊井 睦夫

辻川 松子

毛馬出張所管内河川レンジャー

野路 与蔵

原田 修一

目 次

1. 菊井レンジャー活動実施報告 4月21日(日)～7月20日(日)	1
1.1 実施状況	1
1.2 事前活動	3
1.3 活動状況	4
1.4 意見・課題	7
2. 菊井レンジャー活動実施報告・平成20年10月19日(日).....	8
2.1 実施状況	8
2.2 事前活動	9
2.3 活動状況	10
2.4 意見・課題	11
3. 菊井レンジャー活動実施報告・平成20年12月4日・平成21年1月20日・23日 .	12
3.1 実施状況	12
3.2 事前活動	13
3.3 活動状況	14
3.4 意見・課題	16
4. 辻川レンジャー活動実施報告・平成20年7月1日(火).....	17
4.1 実施状況	17
4.2 事前活動	18
4.3 活動状況	19
4.4 意見・課題	20
5. 辻川レンジャー活動実施報告・平成20年7月30日(水)、9月23日(祝)	21
5.1 実施状況	21
5.2 事前活動	22
5.3 活動状況	23
5.4 意見・課題	24
6. 辻川レンジャー活動実施報告・平成20年8月30日(土).....	25
6.1 実施状況	25
6.2 事前活動	26
6.3 活動状況	27
6.4 意見・課題	28
7. 辻川レンジャー活動実施報告・平成20年9月3日(土).....	29
7.1 実施状況	29
7.2 事前活動	30
7.3 活動状況	31

7.4	意見・課題	32
8.	辻川レンジャー活動実施報告・平成20年9月～(4回実施)	33
8.1	実施状況	33
8.2	事前活動	37
8.3	活動状況	38
8.4	意見・課題	42
9.	辻川レンジャー活動実施報告・平成20年10月19日(日)	52
9.1	実施状況	52
9.2	事前活動	53
9.3	活動状況	54
9.4	意見・課題	56
10.	辻川レンジャー活動実施報告・平成21年1月26日(月)	62
10.1	実施状況	62
10.2	事前活動	63
10.3	活動状況	64
10.4	意見・課題	66
11.	辻川レンジャー活動実施報告・平成21年2月15日(日)	72
11.1	実施状況	72
11.2	事前活動	73
11.3	活動状況	74
11.4	意見・課題	76
12.	野路レンジャー活動実施報告・平成20年6月22日(日)・11月30日(日)	77
12.1	実施状況	77
12.2	事前活動	79
12.3	活動状況	80
12.4	意見・課題	82
13.	野路レンジャー活動実施報告・平成20年9月21日(日)	83
13.1	実施状況	83
13.2	事前活動	84
13.3	活動状況	85
13.4	意見・課題	86
14.	原田レンジャー活動実施報告・平成20年5月11日(日)	87
14.1	実施状況	87
14.2	事前活動	88
14.3	活動状況	89
14.4	意見・課題	90

15.	原田レンジャー活動実施報告・平成 20 年 9 月 28 日(日).....	91
15.1	実施状況	91
15.2	事前活動	92
15.3	活動状況	93
15.4	意見・課題.....	94
16.	原田レンジャー活動実施報告・平成 21 年 1 月 24 日(土).....	95
16.1	実施状況	95
16.2	事前活動	96
16.3	活動状況	97
16.4	意見・課題.....	99
17.	原田レンジャー交流イベント実施報告・平成 20 年 5 月 25 日(日).....	100
17.1	実施状況	100
17.2	事前活動	101
17.3	活動状況	102
18.	辻川レンジャー講演活動実施報告・平成 20 年 8 月 25 日(月).....	103
18.1	実施状況	103
18.2	活動状況	104

1. 菊井レンジャー活動実施報告 4月21日(日)～7月20日(日)

1.1 実施状況

<テーマ：河川レンジャー自然観察会（ジュニア河川レンジャー養成講座）>

テーマ	河川レンジャー自然観察会（ジュニア河川レンジャー養成講座）				
担当	福島管内		河川レンジャー	菊井レンジャー	
日時	4月21日(日) 9:45～13:00	5月11日(日) 8:30～13:50	5月18日(日) 9:45～12:00	6月15日(土) 9:45～12:00	7月20日(日) 9:45～12:00
参加人数	4名	11名	3名	7名	2名
	一般 3名 センター河川レンジャー 1名	一般 1名 協力スタッフ 6名 取材（ザ淀川） 3名 センター河川レンジャー 1名	一般 2名 センター河川レンジャー 1名	一般 6名 事務局 1名	一般 1名 センター河川レンジャー 1名
日時	8月9日(土) 17:30～19:05	8月16日(土) 18:25～20:00	8月17日(日) 9:45～12:00	9月21日(日) 9:45～12:00	10月19日(日) 8:00～10:10
参加人数	14名	17名	3名	4名	5名
	一般 13名 センター河川レンジャー 1名	一般 14名 谷岡レンジャー 1名 運営会議委員 1名 事務局 1名	一般 2名 センター河川レンジャー 1名	一般 3名 事務局 1名	一般 4名 事務局 1名
日時	11月16日(日) 9:45～12:30	12月21日(日) 9:45～12:00	1月18日(日) 9:45～12:00	2月15日(日) 9:30～13:00	3月15日(日)実施予定
参加人数	1名	2名	3名	21名	
	一般 0名 事務局 1名	一般 1名 事務局 1名	一般 2名 事務局 1名	一般 18名 毛馬・山本レンジャー 1名 高槻・吉川レンジャー 1名 事務局 1名	

活動場所

(4/21, 5/18, 6/15, 7/20, 8/17, 9/21) (5/11)



(8/9)

(8/16)







スケジュール

(基本スケジュール)

- 9:45 集合 (阪急十三駅東口) 淀川河川敷へ移動
- 十三干潟到着
- 菊井レンジャーの挨拶と活動内容の説明・観察開始 (上流側へ移動)
- 柴島干潟到着・観察
- 鳥合わせ
- 水道記念館着 館内の見学、野鳥についての講演 (4/21、2/15のみ)
- 12:00～13:00 頃 菊井レンジャー閉会の挨拶の後、解散 (5/11のみ)
- 8:30 スタッフ集合 (阪神淀川駅)
- 9:10 海老江干潟に到着、観察開始
- 10:00 海老江地区・大淀野草地区へ移動
- 11:00 十三大橋を經由して右岸へ移動
- 11:55 十三野草地区・十三干潟にて観察
- 12:15 昼食
- 12:45 再開、通常告知の告知
- 13:50 菊井レンジャー閉会の挨拶後解散 (8/9のみ)
- 17:30 集合 (京阪観月橋駅)
- 18:25 観察地点にて山村レンジャーと合流、ねぐら入りについての説明
- 観察開始
- 18:55 天気急変により急きょ散会
- 19:05 終わりの挨拶、解散 (8/16)
- 18:25 集合 (地下鉄太子橋今市駅)
- 18:50 観察開始
- 19:30 現地講義 (菊井レンジャー、谷岡レンジャー、小関氏、河合委員)
- 20:00 閉会

1.2 事前活動

<p>各種資料</p>	<div style="display: flex; flex-wrap: wrap; justify-content: space-around;"> <div style="text-align: center;">  <p>活動案内</p> </div> <div style="text-align: center;">  <p>ザ淀川掲載記事</p> </div> <div style="text-align: center;">  <p>ザおおさか掲載記事</p> </div> <div style="text-align: center;">  <p>配布資料（野鳥の下敷き）</p> </div> </div>
<p>関係機関からの支援内容</p>	<p>淀川区 スタッフ協力 広報誌（ザ淀川・ザおおさか・ザ散歩など）への活動記事掲載 活動案内の発送 淀川河川事務所 備品（フィールドスコープなど）の貸与 必要資料の提供</p>
<p>レンジャーの活動内容</p>	<p>実施計画の立案 実施日、実施場所の検討 参加の案内 広報誌（ザ淀川・ザおおさか・ザ散歩など）への記事掲載 「淀川管内河川レンジャー ホームページ」への掲載 「よどがわ河川敷フェスティバル」での告知 必要物品の準備 各関係機関への備品、資料の貸与、提供依頼 関係機関との調整 各関係機関へのスタッフ協力の調整 活動の実施 開会、閉会の挨拶 作業の説明 司会進行 説明 参加者との交流</p>

1.3 活動状況



観察の様子(5/18)
十三干潟にて



観察の様子(7/20)
十三干潟にて



観察の様子(5/11)
野鳥の観察。海老江再生干潟にて。



大淀野草地区にて再生干潟など、国交省が行っている取り組みの説明を行った(5/11)



観察の様子(6/15)
レンジャーによる観察指導



観察の様子(5/18)
柴島干潟にて



鳥合わせ(4/20)
観察できた鳥の名前を復習



水道記念館の一室にてレンジャー作の物語「子ツバメチュクジ」のスライド上映(4/20)



向島地区でのツバメのねぐら入り観察会(8/9)
資料を用いてツバメの生態について説明



観察開始



城北地区でのツバメのねぐら入り観察会(8/16)



日没後の観察とレンジャー、講師のツバメについてのお話



通行人との交流、活動の案内(9/16)



ウォーキング参加者との交流、活動の案内(11/16)



十三干潟での観察(12/21)



観察種
ダイサギ、コサギ



観察種
マガモ



観察種
ハマシギ



観察種
キジバト

1.4 意見・課題

<p>参加者からの意見 レンジャーの感想</p>	<p>さまざまな野鳥を見ることができて幸せ(5月)</p> <p>子ツバメチュクジの物語をぜひ子ども達に紹介したい(6月)</p> <p>淀川下流域で150種を超える野鳥を観察、一冊の本にまとめてほしい</p> <p>ツバメの行動の一例を垣間ですが見ることができて良かった (ツバメのねぐら観察会)</p> <p>見たことの無い野鳥との出会い。何という野鳥なのかドキドキします。秋の淀川はシャッターチャンス連続です。</p>
<p>今後の課題</p>	<p>参加者をいかに確保するかが課題 ザ淀川、サンケイ新聞などマスコミにも働きかけています。</p>

2. 菊井レンジャー活動実施報告・平成 20 年 10 月 19 日(日)

2.1 実施状況

<テーマ：よどがわ河川敷フェスティバル 出展>

テーマ	よどがわ河川敷フェスティバル 出展	
担当	福島出張所管内	河川レンジャー 菊井レンジャー
開催日時	平成 20 年 10 月 19 日(日) 10:00~16:00	
参加人数	来場者数	約 3300 名
	協力スタッフ 福島管内辻川レンジャー センター河川レンジャー 淀川河川事務所 福島出張所 運営事務局	25 名(淀川区 ほか) 1 名 1 名 3 名 1 名 2 名
スケジュール	<p>9:00 スタッフ集合・会場設営(福島出張所)</p> <p>10:15 菊井レンジャー会場にて合流</p> <p>12:00 開会</p> <ul style="list-style-type: none"> ・淀川の野鳥を中心に自然をテーマとした写真やパネルの展示 ・淀川に生息する野鳥を中心とした紙芝居 <p>16:00 閉会・撤収作業</p>	
実施場所	 <p>活動場所：淀川河川公園 西中島地区 (よどがわ河川敷フェスティバル会場内)</p>	

2.2 事前活動

<p>各種資料</p>	 <p>展示資料（一部）</p>
<p>関係機関からの支援内容</p>	<p>淀川区役所 スタッフ協力</p> <p>淀川河川事務所 テント等の設営 必要備品、展示用パネルの貸与</p>
<p>レンジャーの活動内容</p>	<p>実施計画の立案 実施内容の検討</p> <p>関係機関との調整 各関係機関との打合せ</p> <p>活動の実施 紙芝居の実演 来場者への説明 来場者との交流</p>

2.3 活動状況



設営の様子



観察会での野鳥の出現種の写真展示



来場者や取材記者に淀川の自然について説明



ステージにて挨拶



紙芝居の実演



来場者に淀川で野鳥の写真をプレゼント

2.4 意見・課題

参加者からの 意見	自然と防災、改めて河川敷で意識させられました。 市長の言葉通り守りたい身近な自然
今後の課題	来場者が 3300 名 何度も会議を重ね、それぞれの分担をまっとう出来たと思っています。 アンケート用紙を忘れていたことが心残りでした。

3. 菊井レンジャー活動実施報告・平成20年12月4日・平成21年1月20日・23日

3.1 実施状況

<テーマ：小学校での河川啓発活動> 新規追加

テーマ	小学校での河川啓発活動		
担当	福島管内	河川レンジャー	菊井レンジャー
日時	12月4日(木) 13:50~15:00	1月20日(火) 13:20~15:50	1月23日(金) 13:30~15:50
参加人数	総数 69名	総数 55名	総数 56名
	児童(5年生) 81名 教職員 5名 センターレンジャー 1名	児童(4年生) 51名 教職員 3名 運営事務局 1名	児童(4年生) 51名 教職員 4名 運営事務局 1名
参加校	神津小学校		柏里小学校
スケジュール	13:50区役所前集合 河川敷へ移動 14:00河川敷到着 挨拶・観察開始 十三干潟から葦原へ 双眼鏡を使って観察 14:45鳥合わせ(15種を確認) 十三干潟のお話 児童からの感想 定例観察会の案内	13:20小学校到着 先生と打合せ 13:50教室へ移動・授業開始 野鳥カルタを復唱し、 野鳥について解説 14:40十分休憩 14:50再開・紙芝居 「子ツバメチュクジ」 の朗読・質疑応答 15:35終了の挨拶	13:50開会の挨拶・学校出発 河川敷到着・観察開始 14:05淀川陸開の説明 14:10淀川大橋を渡り左岸へ 14:25福島出張所で休憩 河川敷にて観察 15:00海老江人工干潟 スコープを使って観 察 15:40終了の挨拶・閉会
活動場所	 		

3.2 事前活動

<p>各種資料</p>	<div data-bbox="751 226 1193 551" data-label="Image"> </div> <p style="text-align: center;">配布資料</p>
<p>関係機関からの支援内容</p>	<p>淀川河川事務所 必要備品（フィールドスコープ）の貸与 必要資料の提供</p>
<p>レンジャーの活動内容</p>	<p>活動計画の立案 実施内容の検討 小学校との調整</p> <p>必要物品の準備 関係機関への備品、資料の貸与、提供依頼</p> <p>関係機関との調整 小学校との打合せ</p> <p>活動の実施 当日の進行・運営 開会、閉会の挨拶 説明、解説 児童らとの交流</p>

3.3 活動状況

12月4日の様子



開会 菊井レンジャーより開会の挨拶



十三干潟にて双眼鏡を使って観察

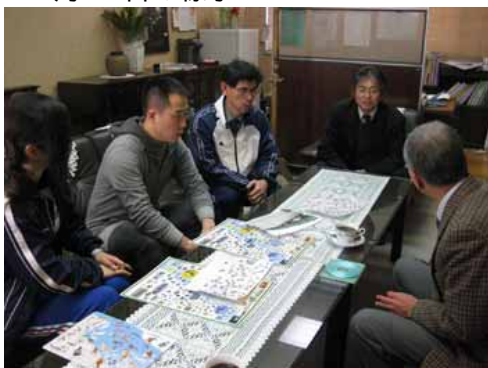


菊井レンジャーより水辺の野鳥の解説



ヨシ原での観察の様子

1月20日の様子



校長室で教員と事前打合せ



パワーポイントを使い、「野鳥カルタ」を読み合わせ



お話「子ツバメチュクジ」の朗読



野鳥の下敷きの配布と、終了の挨拶

1月23日の様子



開会の挨拶



淀川大橋(延長 800m)を渡る



スコープで観察のようす



海老江人工干潟と淀川大橋全景

3.4 意見・課題

参加者からの 意見	川や干潟のことや鳥を望遠鏡で見て、うれしかった。 鳥を一目見て名前が分かるなんてすごい。 ハヤブサを見ることができた。
今後の課題	事前の打ち合わせが少なかった事。

4. 辻川レンジャー活動実施報告・平成 20 年 7 月 1 日(火)

4.1 実施状況

<テーマ：その他の活動 自主事業>

テーマ	五感で学ぶ「淀川を見て・ふれて・かんがえる！！」		
担当	福島出張所管内	河川レンジャー	辻川レンジャー
開催日時	平成 20 年 7 月 1 日 (火) 12:30~15:15		
参加人数	参加総数	6名	
	JAE 塾生：区内の中学生		5名
	NPO：JAE		1名
スケジュール	12:30	集合	
	13:00	淀川について 「よど川発見 伝」「みんなで美しい川を取り戻そう」参考	
	13:20	体感学習 淀川の汽水域（ヨシ原・干潟）に見られる生きものを調べる クロベンケイガニ・ヤマトオサガニを見つける シジミの群集を見つける	
	14:20	再生干潟について調べる	
	15:00	まとめ	
	15:15	解散	
実施場所			

4.2 事前活動

<p>各種資料</p>	<p>「みんなで淀川をゴミの不法投棄から守り美しい川を取り戻そう」 「淀川の汽水域に見られる生き物」(1)魚類 「淀川の汽水域に見られる生き物」(2)魚類以外 「よど川発見 伝」</p>
<p>関係機関からの支援内容</p>	<p>淀川区役所 資料提供(よど川発見 伝)</p> <p>淀川河川事務所 資料提供 (みんなで淀川をゴミの不法投棄から守り美しい川を取り戻そう)</p>
<p>レンジャーの活動内容</p>	<p>実施計画の立案 実施内容・日程の検討</p> <p>参加の案内 NPO 法人 JAE ドリカムスクール通して案内</p> <p>必要物品の準備 JAE と必要物品の調整 区役所区民企画室に資料の依頼</p> <p>関係機関との調整 事業内容の説明と調整を行う</p> <p>活動の実施 開会 事業の運営 閉会 参加者との交流</p>

4.3 活動状況



十三干潟：塩のにおい・風を体感する



干潟へ初めて踏み込む



ヨシ原に生きるいきものを見つける



生きものの採取



シジミの採取



河川敷から再生干潟を眺める



再生干潟の説明

4.4 意見・課題

<p>参加者からの 意見</p>	<p>気づいたこと（原文を掲載）</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ゴミが思ったよりも多かった。色々な生物がいた。 ・汚かった！臭かった！ぐちょぐちょやった！泥だらけになった！ ・思ったより汚い ・キレイなとろはキレイだ！ ・思っていた通りの汚さ ・干潟は楽しかった <p>一言メッセージ（原文を掲載）</p> <p>（淀川へ）これからもよろしく！汚いね～…</p> <ul style="list-style-type: none"> ・いろいろありがとうございました。 ・とても楽しかった。こんなに面白いところとは思ってなかった。だから これからも泳ぎます。 ・もう淀川にゴミは捨てない。 ・面白かったです。カニがとれなかったのが残念でした。 <p>先生からのメッセージ</p> <ul style="list-style-type: none"> ・タガを外して自由にさせる時間を取るべきなんだなあと、子どもたちの動きを見て感じました。おそらく、多くの子どもたちが過去そうしてきた場所だったのでろうと思います。その中から、工夫や学びが生まれまた、郷土への愛着も育まれるのでしょうか。
<p>今後の課題</p>	<ul style="list-style-type: none"> ・一番暑い時間にも関わらず、生徒は次に繋げる学習機会のために、自分が何をしなければならぬかを体感してくれました。 <p>その中で課題として、生き物を採取するためにどのような工夫が必要かを生徒自身に、伝えておくことが大事と感じました。</p>

5. 辻川レンジャー活動実施報告・平成20年7月30日(水)、9月23日(祝)

5.1 実施状況

<テーマ：その他の活動 「親子ネイチャースクール」出前講座>

テ ー マ	河川の適正な利用と環境保護の推進及び交流			
担 当	福島出張所管内	河川レンジャー	辻川レンジャー	
開催日時	7月30日(水) 9:30~15:00		9月23日(祝) 9:30~15:00	
参加人数	参加総数	87名	参加総数	98名
	一般参加者 (大人23名、小人35名)	58名	一般参加者 (大人43名、小人28名)	71名
	協力スタッフ (午前9名、午後8名)	17名	協力スタッフ (午前8名、午後8名)	16名
	運営事務局・スタッフ	12名	運営事務局・スタッフ	11名
スケジュール	9:30 淀川区役所集合 10:00 淀川河川敷 区役所より挨拶 レンジャーより「川について」のお話 干潟に出て生き物を捕まえてみよう! 12:00 休憩 13:00 区役所より「川で住む生き物」のお話 河川レンジャーより講評とまとめ 15:00 終了・片付け 15:30 解散		9:30 淀川区役所集合 10:00 淀川河川敷 区役所より挨拶 レンジャーより「川について」のお話 バッタのオリンピック 12:00 休憩 13:00 区役所による「自然工作」 河川レンジャーより講評とまとめ 15:00 終了・片付け 15:30 解散	
実施場所				

5.2 事前活動

各種資料	特になし
関係機関からの支援内容	淀川区役所 活動場所の調整
レンジャーの活動内容	実施計画の立案 活動の場の提案 参加の案内 淀川区役所より区民に周知 必要物品の準備 なし 関係機関との調整 実施場所・持ち時間の調整 活動の実施 川の適正な利用と「淀川」の素晴らしさを伝える

5.3 活動状況



事業進行...区役所



レンジャーより「淀川」のお話



ゴミのポイ捨てをしないでね！



みんなで自然を大切にしましょうね！



2日目 自然の大切さを伝える



2日目 子どもたちと一緒にバツタとり



2日目 受講者と一緒にバツタづくり

5.4 意見・課題

<p>参加者からの 意見</p>	<p>子どもからの声</p> <ul style="list-style-type: none">・カニがいっぱい...・さかながとれるんや～あ・シジミがいっぱい...・バッタの種類がこんなに多いとは知らなかった <p>保護者からの声</p> <ul style="list-style-type: none">・小さな子どもといっしょで心配したが、とても楽しかった。・良い学習機会でも子どもも親も楽しめた。・淀川の姿がこのままであって欲しい。・何度来ても、干潟は美しいと思う。
<p>今後の課題</p>	<p>区役所・シニア自然大学・河川レンジャーの共同事業として大変意義のある事業であると思っている。 このような事業を 河川レンジャー自身が企画立案さらには独自運営を実施することが最大の課題であるように思う。</p>

6. 辻川レンジャー活動実施報告・平成 20 年 8 月 30 日(土)

6.1 実施状況

<テーマ：その他の活動 自主活動（環境保全と適正な河川利用の推進の啓発）>

テ ー マ	淀川河川公園・十三野草地区および十三干潟の将来像を話そう ～公民協働の実現に向けて～		
担 当	福島出張所管内	河川レンジャー 辻川レンジャー	
開催日時	平成 20 年 8 月 30 日（土） 13:00～15:00		
参加人数	参加総数	21 名	
	一般参加者	15 名	
	区役所事務局	3 名	
	運営事務局	3 名	
スケジュール	12:40	区役所集合 講師と意見の交流	
	13:00	あいさつ...河川レンジャーの活動とこれからの展望について 講座開始 講演 淀川河川公園基本計画について 自然環境「十三干潟」と「十三野草地区」の姿 地域住民との協働による河川公園改修と管理運営に向けて	
	14:00	休憩	
	14:05	ワークショップ 淀川区における取り組みについて 今後の活動について	
	15:10	終了 片付け	
	15:30	解散	
実施場所			

6.2 事前活動

<p>各種資料</p>	<ul style="list-style-type: none"> ・ 淀川河川公園 利用マップ ・ 淀川河川公園 ・ 平成 20 年度 淀川河川事務所 事業のあらまし
<p>関係機関からの支援内容</p>	<p>淀川区役所 活動の場の提供</p> <p>リバーマスター倶楽部 活動の場の提供</p>
<p>レンジャーの活動内容</p>	<p>実施計画の立案 実施日・実施場所・実施内容の調整と計画立案</p> <p>参加の案内 区役所よりリバーマスター倶楽部へ周知</p> <p>必要物品の準備 淀川区役所を通して河川環境管理財団へ依頼</p> <p>関係機関との調整 淀川区役所を通し講師の依頼</p> <p>活動の実施 開会の挨拶</p>

6.4 意見・課題

参加者からの 意見	<p>自然環境の保護に向け住民自身が何をすべきかを考えたい。</p> <p>野犬対策について、動物愛護者と話し合いを持ち 野犬に対し適正な理解を促すことが大事ではないか。</p> <p>野草苑に植わる植物について、自然環境を守る上においても考慮することが必要であるのではないか。</p> <p>住民が安心して集い、さらには子どもたちが学習の場として活用できる空間づくりを進めることが大事ではないか。</p>
今後の課題	<p>今回の学習会が、受講者だけに止まらず、さらに地域住民や行政に働きかけていくことがこれからの課題であると考えます。</p>

7. 辻川レンジャー活動実施報告・平成 20 年 9 月 3 日(土)

7.1 実施状況

<テーマ：その他の活動 自主事業>

テ ー マ	～ヨシ&柿渋で作る～ ヨシ工作講座		
担 当	福島出張所管内	河川レンジャー 辻川レンジャー	
開催日時	平成 20 年 9 月 3 日(土) 14:00～16:30		
参加人数	参加総数	14 名	
	リバーマスター倶楽部	11 名	
	区役所事務局	2 名	
	運営事務局	1 名	
スケジュール	14:00	区役所集合 コースターづくりの指導 大型タペストリーの作成と指導 終了	
	16:00	かたづけ	
	16:30	スタッフ解散	
実施場所			

7.2 事前活動

各種資料	サンプルの展示
関係機関からの支援内容	淀川区役所 活動機会の場の提供
レンジャーの活動内容	実施計画の立案 ヨシの採取 ヨシ刈後の保管について 実施日の調整 指導方法についての計画と調整 作品サンプルの作成 参加の案内 区役所を通してリバーマスター倶楽部へ周知 必要物品の準備 柿渋の準備 荷造り紐の調達 用具の準備 関係機関との調整 都市文化研究所と講座実施に向けた調整 活動の実施 コースターづくりの指導

7.3 活動状況



紙使用の荷造り紐



荷造り紐を適当な幅に整える



ミニタペストリー



出来上がった作品に柿渋を塗る



ミニタペストリーの出来上がり



大型タペストリー


7.4 意見・課題

参加者からの 意見	<p>こんなに早く簡単に出来るとは思わなかった。</p> <p>淀川でとれたヨシで可愛い作品ができることに感動！</p> <p>再利用された荷造り紐を使うことで一層に作品が引きたっている。</p> <p>十三の特産である柿渋利用が素敵だ！</p> <p>ヨシの太さや艶・長さはヨシ原（西中島付近）の水質環境が左右するのでしょうか？</p>
今後の課題	<p>自然環境を保全する啓発にあたり、ヨシ刈りを進めましたが来春より新庁舎に移転することでヨシの保管場所の確保が厳しい状況になると予想されます。そのために温後の事業推進に若干の課題が残ると考えます。</p>

8. 辻川レンジャー活動実施報告・平成 20 年 9 月～（4 回実施）

8.1 実施状況

<テーマ：河川防災スクール（水防工法体験会）>


テ ー マ	わがまち「防災スクール」～安心・安全なまちづくりを目指して～			
担 当	福島出張所管内	河川レンジャー 辻川レンジャー		
開催日時	平成 20 年 9 月 5 日（金） 9:00～13:30			
参加人数	参加総数	218 名		
	十三中学校 1 年生生徒 教職員、学校関係者 桂川管内柳沼レンジャー センター河川レンジャー 協力スタッフ （PTA、わがまち、生涯学習） 淀川区役所 大阪市危機管理室 区・社会福祉協議会事務局 報道関係者・その他 大阪市淀川消防署 福島出張所 運営事務局	168 名 8 名 1 名 1 名 14 名 2 名 1 名 2 名 3 名 7 名 （救命講習 3 名、可搬式ポンプ 4 名） 9 名 2 名		
講 師	裕永 正光氏 （淀川右岸水防事務組合）			
スケジュール	8:40 10:45 10:55 11:00 12:10 12:15 12:40 12:45 13:30	会場設営（福島出張所） レンジャー、協力スタッフ集合 生徒集合、開会の挨拶と講師、スタッフの紹介 非常食（米）について 3つのグループに分かれて実習開始 土のうづくり...裕永氏による水防工法の紹介と体験 救急救命...淀川消防署による人形を用いた AED の使用法と救急救命の実習 可搬式ポンプ...淀川消防署による可搬式ポンプの使用法説明と体験 実習終了、集合 炊きあがった非常食（米）の配布と試食 裕永氏より講評 辻川レンジャーの挨拶の後解散、帰校 スタッフら片付け スタッフ解散		
実施場所				

テ ー マ	わがまち「防災スクール」PART.2			
担 当	福島出張所管内	河川レンジャー 辻川レンジャー		
開催日時	平成 20 年 11 月 10 日 (月) 13:30~15:30			
参加人数	参加総数	179 名		
	十三中学校 1 年生生徒	168 名		
	教職員、学校関係者	3 名		
	協力スタッフ	5 名	(淀川区役所)	
	福島出張所 運営事務局	1 名 2 名		
講 師	裕永氏 寺嶋氏	(防災アドバイザー) (淀川消防署職員)		
スケジュール	12:50 13:00 13:35 13:40 13:55 14:25 14:48 14:58 15:19 15:25 15:35	スタッフミーティング 生徒 講堂に入室 授業の目的と説明(辻川レンジャー) 「淀川決壊」DVD の上映 「淀川の地形と危機管理」 裕永氏講演 休憩(10分) 第1回「わがまち防災スクール」のふりかえり 「オレンジ」DVD 上映 終了 スタッフ片付け 反省会		
実施場所				

テ ー マ	わがまち「防災スクール」PART.3		
担 当	福島出張所管内	河川レンジャー 辻川レンジャー	
開催日時	平成20年12月10日(水) 13:00~15:30		
参加人数	参加総数	210名	
	十三中学校2・3年生生徒	168名	
	教職員、学校関係者	10名	
	協力スタッフ	7名	(淀川区役所)
	防災リーダー	22名	NPO わがまちビジョン・PTA
	福島出張所	1名	
	運営事務局	2名	
講 師	杉原氏	(大阪市危機管理室)	
スケジュール	13:14	スタッフミーティング(講堂にて)	
	13:30	スタッフによる準備	
	13:39	生徒入場	
	13:51	辻川レンジャーより挨拶	
	13:55	D I G 図上訓練の説明及び開始	
	14:41	阪神大震災の映像	
	14:55	生徒による大震災の体験記	
	15:01	淀川区役所の丸橋係長より常備品の説明	
	15:00	防災スクールの終了	
	15:15	スタッフによる後片付け	
	15:22	非常食の配布 解散	
実施場所			

テ ー マ	わがまち「防災スクール」新北野中学		
担 当	福島出張所管内	河川レンジャー	辻川レンジャー
開催日時	平成 21 年 2 月 9 日 (月) 14:30 ~ 16:40		
参加人数	参加総数	43 名	
	生徒参加者	33 名	
	教師	4 名	校長、教頭を含む
	協力巢タフ淀川区役所	3 名	(淀川区役所、淀川消防署)
	新聞社	1 名	
	福島出張所 運営事務局	1 名 1 名	
講 師	寺島氏	(淀川消防署司令)	
スケジュール	14:31	会場設営	
	15:04	開会の挨拶	
	15:07	学校長挨拶	
	15:37	防災講義のようす	
	15:50	生徒さんのコメントその 1	
	15:53	生徒さんのコメントその 2	
	16:19	消防司令による講義	
	16:23	閉会の挨拶	
	16:28	生徒さんの退室	
	16:38	解散ミーティング	
実施場所 新北野中学校			

8.2 事前活動

<p>各種資料</p>	 <p>配布資料</p>
<p>関係機関からの支援内容</p>	<p>淀川区役所 災害用備蓄食糧（米） スタッフ協力 淀川消防署 講師協力 資料の提供 淀川右岸水防事務組合 啓発物品（懐中電灯）の提供 淀川河川事務所 テント等の設営 啓発物品（タオル）必要資料の提供 必要備品の貸与</p>
<p>レンジャーの活動内容</p>	<p>実施計画の立案 実施日、実施内容の検討</p> <p>参加の案内 学校授業と位置づけ、保護者向けに参加の案内を行う。</p> <p>必要物品の準備 関係諸機関に出向き、物品提供に依頼を行う。</p> <p>講師の手配 日程調整と講師の依頼を行う。</p> <p>関係機関との調整 淀川河川事務所及び区役所・消防署との事前打合せを行う。</p> <p>協力スタッフの調整 事業実施説明と生徒の安全確保のために引率の協力依頼を行う。</p> <p>活動の実施 会場設営 実施場所までの誘導と引率 非常食の意義と使用方法の説明 学校までの誘導と引率 開会 授業の進行 閉会</p>

8.3 活動状況

9月5日 実施の様子



設営の様子



十三中学校にて生徒集合、河川敷へ移動



開会 レンジャーの挨拶とスタッフ、講師の紹介が行われた



非常食(米)の説明と実際の炊き出しを行った



水害時に有効な水防工法についての講義のあと、土のう積みの体験



救命講習とAED使用法の説明と実習



可搬式ポンプのエンジン始動と放水の体験



体験終了後、炊きあがった非常食(米)を配布し、試食を行った

11月10日 実施の様子



スタッフミーティング



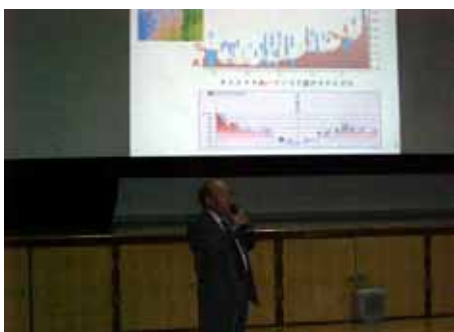
生徒・講堂に入室する



辻川レンジャーより講師の紹介をされた



「淀川の決壊」のDVDを上映した



裕永正光氏の講演



校長先生の挨拶



第1回わがまち「防災スクール」振り返り



「オレンジ」DVD上映

12月10日の様子



ミーティング打ち合わせ



生徒入場



辻川レンジャーからの挨拶



DIG 図上訓練のグループワーク



阪神大震災映像を観ている生徒たち



中学生の震災の体験を発表した



淀川区役所 丸橋係長より非常用品の説明



後片付けの終了後、非常用食の配布

2月9日の様子



14:31 会場設営



15:04 開会の挨拶



15:07 学校長挨拶



15:37 防災講義のようす



15:50 生徒さんのコメントその1



15:53 生徒さんのコメントその2



16:19 消防司令による講義



16:23 閉会の挨拶

8.4 意見・課題

参加者からの意見	<p>参加者からのアンケートを次項より掲載（回答率 97%）</p> <p>中学生の現状を把握することができ、地域活動の課題を見つけることが出来たことが大変良かった。</p>
今後の課題	<p>9月5日 当事業は、今回で4回目を迎えました。その間、手探りながら講師に恵まれ、定着した事業となってまいりました。特に今年度は、放課後授業を活用した実施から特別学習時間を預かり2時間×3回の6時間を担うこととなりました。急遽のことでしたが、授業3回の配分を「P.1で実施体験」「P.2振り返り」「P.3体験談とまとめ」を計画しています。P.2からの事業については今まで以上に、関係諸機関との細かな調整が大事であると思っています。</p> <p>12月11日 レンジャーと地域・行政が一つになり、無事終了することができたことに感謝いたします。特に、場の提供を頂きました学校現場の先生方やサポートいただきました講師の先生・消防署・区役所の方々には本当に心からお礼を申し上げます。防災スクール1～3を通してまだまだ工夫はいるものの、私が目指すレンジャー活動の目的を達成できたものと実感致しました。</p>

わがまち 「防災スクール」
企 画 書
～安心・安全なまちづくりを目ざして～ P 1.
9月防災月間 「中学生の災害訓練」

平成20年9月3日 提出

提案者：河川レンジャー辻川松子

実施対象：	大阪市立十三中学校第1学年全生徒	・ ・ 168人	15グループ
1組・ ・ 34人	2組・ ・ 34人	3組・ ・ 33人	4組・ ・ 34人
5組・ ・ 33人			
実施日時：	平成20年9月5日（金） 10：20～12：35		
行 程	10:20	学校	集合・出発（進行・ ・ ・辻川河川レンジャー）
	10:45	河川敷	開始宣言（グループ合同）事業の目的説明 ・校長先生挨拶 ・諸注意
	10:55	河川敷	災害に伴う食糧についての説明と実践
	11:00	河川敷	実践開始 1、土嚢づくり 2、救命講習 3、可搬式ポンプ
	12:00	河川敷	α米試食
	12:15	河川敷	移動
	12:35	学校	解散
	実施場所：	淀川河川敷 西中島側 参考資料有	
実施内容：	1班 救難・ ・ ・土嚢づくり		
	2班 救護・ ・ ・救命講習		
	3班 救援・ ・ ・可搬式ポンプの使用法		
実施目的：	災害に対する危機意識の啓発と知識・技術の習得および 体験を通して世代間の交流と次世代の育成を図る。		
講 師：	・ 杉永正光氏	・ 淀川消防署	
協 力：	・ 未来わがまち推進委員会委員	・ 十三中学校PTA（はぐくみネット）	
	・ 生涯学習推進委員	・ 淀川リバマスター倶楽部	
	・ 淀川右岸水防組合（器材の提供）	・ 淀川消防署	
必要物品：	テント（5張り）	水分補給用水	
	事業に係わる備品・器具一式		
配布物：	啓発物品（タオル・リーフレット）		
協 賛：	大阪市立十三中学校	淀川区役所	
主 催：	国土交通省近畿整備局淀川河川事務所		
	淀川管内福島出張所 辻川松子河川レンジャー		

* 災害訓練として位置づけα米及び水缶を使用

行程表

H,20,9,5.

9:00	河川敷	レンジャー準備		設営に参加
10:10	十三中学校	レンジャー着		のぼり1旗使用
10:15	十三中学校	スタッフ集合	わがまち・・・味方・森・金澤・小島・長谷川・武藤・中村・宮本・岡はぐくみ・・・米山・ 生涯学習・・・岡崎・四野・吉成・ PTA.....中澤 赤字・・・河川敷直 リバー倶楽部・	
	十三中学校	生徒整列		
10:20	十三中学校	生徒出発	クラス毎移動(5クラス)	サポート 引率
10:40	淀川河川敷	生徒到着	テントの中に入る(クラス毎)	テント5張を設置
10:45	淀川河川敷	開会宣言	事業説明	司会:辻川レンジャー
			挨拶	村口校長
10:55	淀川河川敷	備蓄食料	水缶を使用して。米使用の説明	50食×4箱 サポーター8名による デモンstrーション 説明・・・辻川
11:00 ~(60間) 12:00	淀川河川敷			
	1班	救難	土のうづくり	各クラスで班割。 1班～3班に分かれる。 実施場 所別紙参考。
	2班	救護	救命講習	
3班	救援	可搬式ポンプ		
12:00	淀川河川敷	試食	サポートによる配食(11:50頃から配食の準備)	
12:15	淀川河川敷	出発	クラス毎移動	サポートの引率
12:35	十三中学校	到着		
12:40	十三中学校	スタッフ解散		

雨の場合

9時現在で判断

実施場所: 十三中学校講堂

参加対象: 1学年全員

実施時間: 10:20~12:35

10:20	講堂	生徒整列	各クラス毎に座る	
10:30 ~(10分) 10:40	講堂	開会宣言	事業説明 挨拶	司会:レンジャー 村口校長
10:40 ~(10分) 10:50	講堂	備蓄食料	水缶を使用してα米使用の説明	50食×4箱 8名がデ モ 説 明・辻川 他8名
10:50 ~(30分) 11:20	講堂	裕永正光氏による講和	「私の体験談と防災について」	
10分	休憩			
11:30 ~(15分) 11:45	講堂	可搬式ポンプについて	寺嶋指令士・消防署	
11:50 ~(25分) 12:15	講堂	救護と救命について	救命士・消防署	
12:15 ~(15分) 12:30	講堂	米飯試食	サポータによる給配	
12:35	講堂	終了宣言		河川レンジャー
12:40	講堂	スタッフ解散		

スタッフ

PTA

中澤会長
新川与志子
西村幸代
佐藤すみ子
上間恵美

わがまち

岡 英次
森 加代
武藤文雄
長谷川勝美
宮本 偉
金澤
中村

生涯学習

岡崎 由希
はぐくみ兼務
わがまち兼務
はぐくみ
区役所 丸橋係長
四野咲子 危機管理室杉原室長
吉成佳世 ザ・淀川編集委員
米山悦子 都市文化研究所
堀口係員
区社会福祉協議会やすら
大川係長他1名

わがまち「防災スクール」
アンケート

大阪市立十三中学校1年

- * 貴方は、
・()組 ・男 ・女
- * 貴方は何班に参加しましたか。
・土のうづくり 班 ・救命講習 班 ・可搬式ポンプ 班
- * 参加していかがでしたか。
・大変良かった ・普通 ・悪かった
- * 良かったと答えた方に聞きます。
・何が良かったのでしょうか。()
- * 悪かったと答えた方に聞きます。
・何が悪かったのでしょうか。()
- * 大阪市が災害用に準備している非常食アルファ米を今まで食べたことがありますか？
・初めて食べた ・食べたことが有る
- * 味は如何でしたか？
・美味しかった ・普通 ・美味しくなかった
- * 貴方は河川敷に来たことがありますか？
・今回初めて ・2回目 ・3回目 ・3回以上()
- * 貴方は河川敷に来るとき、誰ときますか？
・学校から ・友だち ・家族 ・その他()
- * 河川敷に来たらどのようなことをしますか。
・干潟で遊ぶ ・野球をする ・散歩をする ・その他()
- * もし貴方のまわりで緊急事態がおきたら、今回の体験を活かすことができますか。
・良く出来る ・できる ・自信が無い ・その他()

わがまち「防災スクール」の体験で、感じたことを書いてください。

作成:国土交通省近畿整備局河川事務所 淀川管内福島出張所 河川レンジャー辻川松子

わがまち「防災スクエア」体験アンケートのまとめ

P. 1 平成20年9月5日 実施

集計：9月30日

組	人数	男女別数	班別数	参加者評価	の来試食の有無	の来の味について	河川敷に行った回数	誰と行きましたか	河川敷でどの様なことをしましたか	体験を話かすことが出来ますか
1組	29	男子13人	土のうづくり班 救命講習 班	3 大変良かった 4 普通	12 ある	美味しかった 普通	初めて 2 3回以上 9	学校から 2 友だち 11	平岡で遊ぶ 5 つり・テニス・和 野球をする 5 つり・テニス・和 散歩をする 5 つり・テニス・和 散歩をする 5 つり・テニス・和 散歩をする	良く出来る 2 出来る 2 自身が無い 7
		女子16人	土のうづくり班 救命講習 班	7 大変良かった 5 普通	16 ある	美味しかった 普通	初めて 0 3回以上 13	学校から 3 友だち 13	平岡で遊ぶ 3 その他 15	良く出来る 0 出来る 5 自身が無い 10
2組	32	男子15人	土のうづくり班 救命講習 班	4 大変良かった 8 普通	12 ある	美味しかった 普通	初めて 2 3回以上 8	学校から 7 友だち 5	平岡で遊ぶ 4 その他 7	良く出来る 0 出来る 4 自身が無い 9
		女子17人	土のうづくり班 救命講習 班	6 大変良かった 5 普通	17 ある	美味しかった 普通	初めて 2 3回以上 13	学校から 2 友だち 6	平岡で遊ぶ 6 その他 5	良く出来る 0 出来る 2 自身が無い 13
3組	30	男子12人	土のうづくり班 救命講習 班	5 大変良かった 4 普通	12 ある	美味しかった 普通	初めて 0 3回以上 10	学校から 3 友だち 7	平岡で遊ぶ 3 その他 0	良く出来る 0 出来る 6 自身が無い 1
		女子18人	土のうづくり班 救命講習 班	4 大変良かった 7 普通	18 ある	美味しかった 普通	初めて 2 3回以上 12	学校から 6 友だち 10	平岡で遊ぶ 0 パーベークュー 散歩をする 8 花火	良く出来る 0 出来る 5 自身が無い 13
4組	34	男子15人	土のうづくり班 救命講習 班	6 大変良かった 6 普通	15 ある	美味しかった 普通	初めて 2 3回以上 10	学校から 1 友だち 0	平岡で遊ぶ 4 その他 7	良く出来る 1 出来る 4 自身が無い 8
		女子19人	土のうづくり班 救命講習 班	7 大変良かった 5 普通	17 ある	美味しかった 普通	初めて 1 3回以上 17	学校から 3 友だち 8	平岡で遊ぶ 3 その他 12	良く出来る 0 出来る 6 自身が無い 10
5組	33	男子15人	土のうづくり班 救命講習 班	4 大変良かった 7 普通	11 ある	美味しかった 普通	初めて 2 3回以上 9	学校から 1 友だち 8	平岡で遊ぶ 2 その他 8	良く出来る 1 出来る 2 自身が無い 8
		女子18人	土のうづくり班 救命講習 班	6 大変良かった 6 普通	15 ある	美味しかった 普通	初めて 1 3回以上 15	学校から 6 友だち 9	平岡で遊ぶ 2 その他 11	良く出来る 2 出来る 3 自身が無い 11
合計	158	男子15人	土のうづくり班 救命講習 班	29 大変良かった 26 普通	62 ある	美味しかった 普通	初めて 8 3回以上 40	学校から 14 友だち 43	平岡で遊ぶ 17 その他 26	良く出来る 4 出来る 18 自身が無い 31
		女子18人	土のうづくり班 救命講習 班	7 大変良かった 22 普通	83 ある	美味しかった 普通	初めて 6 3回以上 70	学校から 30 友だち 46	平岡で遊ぶ 14 その他 47	良く出来る 1 出来る 21 自身が無い 57
回答総数	158		土のうづくり班 救命講習 班	61 大変良かった 47 普通	145 ある	美味しかった 普通	初めて 14 3回以上 116	学校から 44 友だち 89	平岡で遊ぶ 31 その他 73	良く出来る 5 出来る 39 自身が無い 88
回答率約97%	156		土のうづくり班 救命講習 班	50 悪かった 6 普通	56 ある	美味しくなかった 普通	初めて 3 3回以上 9	学校から 70 友だち 70	平岡で遊ぶ 37	155

<参加して良かったこと>

大変勉強になった。楽しかった。
説明が良かった。人が助けられるから。みんなで協力出来た。
可搬式ポンプなどは使ったことがなく、初めての良い体験ができた。
普段体験できないことができた。よい経験ができた。
エンジンをかける時。みんなが体験できた。
人口呼吸の仕方が分かった。
いろいろな知識がついた。
災害の時 役立つと思った。 ちょっとは将来に役立つと思った。
将来つかえそうだから。
放水したこと。 水を出すのが楽しかった。
めったに出来ないことができた。
万が一の時のやり方を教えてもらった。
もし、災害が起きた時、人の救命のしかたを教えてもらった。
もし、災害が起きた時に役立てることが出来るから。
分かりやすく教えてもらい、良い体験ができた。
AEDは勉強になった。

<悪かったこと>

やる気なし。 面倒くさい。 だるい。
しゃべっている
人口呼吸がいやだった。
疲れた。
ちゃんとやっていなかった。
時間の都合で体験が出来なかった。

- ☆アンケートに記載されました文章は、原文を登用致しております。
☆重複する文言については、整理をして記載しております。

生徒の声

<土のうづくり班の感想>

*土のうづくりをして良かった。もし、水があふれたら私たちがやったことをやれば良いので すごくいい体験と思いました。飯は美味しくなかったけれど 食べれない人を思うと美味しく 感じた。
*緊急事態がおきたらいろいろなことをしなければいけないので大変だな~あとと思いました。
*防災スクールをやってしんどかったけど こうしたら良いんだなあ~と思って助かった。
*土のうづくりは大変で疲れたけど もし地震とかの災害にあったときどうしたらいいのか少し だけ分かって良かった。
*ぼくは土のうづくりをしました。土のうは重たかったけどおもしろかったです。 土のうづく りを学んでもし 大雨が降って淀川がやばくなったら土のうで阻止したいです。
*土のうづくりは大変だった。けど 自分の町とかに防水がおきたらいけないので頑張った。ま た、なんかあったときは出来るようになってたらしいと思いました。
*しんどかったけど楽しかった。
*僕は土のうづくりではなく 可搬式ポンプ班が良かった。土のうづくりは 力仕事ばかりでし んどかった。あまりおもしろくなかった。ひもが上手にしてくれなかった。 災害の時はこの経験を活かそうと思う。
*土のうづくりをして疲れた後に食べたごはんがおいしかった。
*いい会だったと思う。
*”暑い・・・なんで夏にするん？ 冬とかでいいやん”
*変だったけれど、ご飯が美味しかった。
*洪水が起き時 学年が対応しなければいけないと思った。
*土のうづくりでは 土のうを早くつくらないと川があふれて 大変な事がおこると思った。
*いざ災害が起きた時に こんな大変なことをしなくちゃいけないんだな~あと 改めて勉強に なった。
*大変だったし、いろんな事を教わった。
*ちゃんとやっていなかったけれど 体験に来てよかった!!
*思っていたよりしんどい作業だったけど、やくにたったので良かった。
*体験して自信がなかった。
*もっと他の事もしてみたいと思った。色々な災害でどうしたらいいかとかを 知る事ができ た。
*だるかった。 *大変だった。 *すごく勉強になった。 大変だった ことが分かった
*淀川までの歩きで疲れた。次の日筋肉痛になった!
*ここまでいそがしいとは思わなかったので 出来て良かったです。
*あまりおもしろくなかった。
*おもんなかったけど ためになると思った。
*非常食はあまりおいしくなかったけど いざという時は大切だな~あとと思った。
*これを災害時に役立てみたいと思った。
*実さいに起きたら 絶対に土のうをそんなに早くつくれないから水浸しになると思います。
*土を袋に入れるの めっちゃつかれた。

<救命講習班の感想>

*2班の救命講習の人は厳しかった。 おもしろそうだったけどできなかった。 でも 人工呼 吸は したくなかったからある意味良かった。
--

*身近で大変なことは起きたことがないけれど もしあれば自信はないけれど 頑張っ習った事を活かしたい。
*救命講習を受けましたが結構大変でした。講習を受けたので役にたったと思います。
*救命講習会で人口呼吸の体験をしていないけれど やり方を覚えました。
*・恥ずかしかったけど 楽しかった！！
*「救命」人を助ける事が大切だと思った。私は見てただけで体験はしていないけれども、いろいろ覚えられて良かった。
*人の命を守ることは大切なんだな~あとと思った。
*救命講習会はとても しんどかった。
*めっちゃ 楽しかった。
*人口呼吸いやだった。したくない。
*2回目だったけれど やっぱり大変だと思った。
*ちょっとは、防災の事がわかった。
*いろいろなことが、こんど活かすことができたらいいなあとと思った。
*楽々に覚えた。
*もし、何かが起こった時に こういう体験ができてすごく良かったと思った。
*あつかったけれど、おもしろかった。水だけでできるα米はすごいと思った。
*緊急事態の時 どうするかよくわかりました。
*少し緊張したけど やってみると楽しくできた。本当に倒れている人がいたら ちゃんとできるか分からないけれど頑張りたい！
*こんな小さなことで人が助かるなんて思ってもいなかった。
*もし近くで人が倒れていたら この経験をいかしたい。
*α米は最初は何かめちょめちょしていると思ったけれど 食べてみたらけっこうおいしかった。
*中学生は頑張らなあかん
*以外に難しそうだった でも 心臓マッサージのやり方が分かって良かった。なるべく活かせるように頑張りたい。
*防災スクールを体験する前に 消防署で救命講習を受けていたので 内容は分かりやすかったです。
*何か起こったときに 備えようと思う。
*それなりに良かったと思う。
*しんどい・だるい。
*普通やった。美味しかった。
*もし 緊急事態がおきた時には 学んだことを活用しようと思う。
*防災スクールでAEDとかして楽しかった。
*もし たおれている人がいたらすぐにたすけないといけないと 責任感を感じた。
*大事なことを教えてくれた。AEDが楽しかった。
*内容がよく分らん。すずしい時にやりたい。
*いい経験になりました。

<可搬式ポンプ班の感想>

* 阪神大震災では 大阪市はそんなに被害はなかったと聞きましたが、活断層が大阪市をとおっていると聞きました。 だから これはべつにいらぬことではなかったと思います。
* ポンプをする作業が見ているだけだと、簡単そうに見えたけど 実際はすごく難しかったです。 災害が起きた時は ちゃんと協力したいと思います。
* 大変だと思った。
* いままでにない体験がいっぱいできた。
* 最悪でした。
* むずかしかった。
* ポンプの先がすごくおもたかった。
* 知っておくと役立つこともあった。 体験できて良かった。
* 非常食のα米が美味しかった。 けっこうためになったと思う。
* いろんな人たちが僕たちのために一生懸命教えてくれてとても良かった。
* やらずに 遊んでいた。
* 水がすごく「プアー」と出ていた。
* 自分たちの町を守るためにたくさんの人が動いていることを知りました！！
* もし 災害がおきたらこんな大変なことをするのかと思った。
* エンジンがかかった時は 煙が出てくさかったけど ポンプから水が出て川に放水したのは楽しかった。
* 初めて使った物や食べた物があって楽しかった。
* 中学生が頑張らないといけないと思った。
* いざという時 役立ちそうだったと思った。
* 災害が起きた時のために 色々な工夫をして 対策をしているんだな~あと思った。
* 体験をして良かった。災害がおこったら ここでやったことをいかしたい。
* 暑かった。
* ポンプやホースは重たそうだった。まだ パンフレットを読んでないので読む。
* いい体験が出来て良かったと思う。
* まあまあ楽しかった。
* いづれ もしも災害にあつて親がいなかったら 僕らがやらないといけない。 防災スクールでやったことを活かしていきたい。
* 時間が少し足りなかったけど 始めて体験して難しかった。
* もし本当に地震とかが起きたら どうしようとか イロイロあったけど 体験したので 本当にそうゆう事があつたらガンバろうと思った。 とても楽しかった。
* もし本当に災害がおこつたら このことができないと思う。
* こういう体験は初めてだったのでいい経験になったと思います。
* ポンプの体験は めっちゃ大変やった。でも良い経験ができて良かったと思う。
* もし 身の回りで災害がおきたら自信はないけど みんなのためにこの経験を役に立てたい。

9. 辻川レンジャー活動実施報告・平成 20 年 10 月 19 日(日)

9.1 実施状況

<テーマ：よどがわ河川敷フェスティバル 出展>

テーマ	防災啓発活動 第7回 よどがわ河川敷フェスティバル	
担当	福島出張所管内	河川レンジャー 辻川レンジャー
開催日時	平成 20 年 10 月 19 日(日) 9:00~16:00	
参加人数	来場者数	約 3300 名
	協力スタッフ 福島管内辻川レンジャー センター河川レンジャー 淀川河川事務所 福島出張所 運営事務局	25 名(淀川区 ほか) 1 名 1 名 3 名 1 名 2 名
スケジュール	<p>9:00 会場スタッフ集合</p> <p>10:00 辻川レンジャー挨拶・担当ブースに移動準備</p> <p>10:40 河川レンジャーブース・水中歩行体験施設・水没ドア体験施設の準備完了</p> <p>辻川レンジャーによる各体験施設についてスタッフに説明</p> <p>12:00 開会式 (平松大阪市長・淀川ネイチャークラブ代表小竹氏・河川レンジャーより開会宣言)</p> <p>各体験施設 参加者受付・体験開始 (~16:00)</p> <p>14:15 辻川レンジャーによる紙芝居</p> <p>16:00 閉会式 辻川レンジャーより挨拶</p> <p>16:05 後片付け</p> <p>施設撤去の立ち会い</p> <p>18:40 解散</p>	
実施場所		

9.2 事前活動

各種資料	
関係機関からの支援内容	<p>淀川区役所 スタッフ協力 広報活動</p> <p>淀川河川事務所 体験施設の設営、撤去 体験施設運営オペレーターの派遣 必要物品（のぼり、テント等）の貸与 必要備品、展示用パネルの貸与 必要資料の提供</p>
レンジャーの活動内容	<p>実施計画の立案 実施内容の検討</p> <p>関係機関との調整 各関係機関との打合せ 施設、備品等の貸与、提供の依頼 スタッフ協力依頼</p> <p>活動の実施 開会、閉会の挨拶 展示内容、体験内容について説明 紙芝居の実演 来場者への説明 来場者との交流 アンケート集計</p>

9.3 活動状況



水中歩行施設 設営の様子



水没ドア体験施設 設営の様子



スタッフミーティングの様子



辻川レンジャーよりスタッフへ体験施設についてレクチャー



開会式 平松市長と辻川レンジャー



平松大阪市長



水中歩行体験施設



洪水時の町中の様子を疑似体験



水没ドア体験施設



洪水時に水圧によってドアが開きにくくなる現象を体験



辻川レンジャー、スタッフより体験施設の体験者に施設について説明



辻川レンジャーによる紙芝居
「スタートルとマナビの淀川探検」



水中歩行施設 撤去の様子



水没ドア施設 撤去の様子

9.4 意見・課題

参加者からの意見	<p>薄れかけた体験記憶を再現できたように思います。このようなことがあってはならないが実際に起きた時にはこの日の体験を活かしたいと思います。(大人の意見)</p> <p>面白い・怖い・溺れそう(子供の意見)</p> <p>(アンケート集計結果を次項より掲載)</p>
今後の課題	<p>晴天にめぐまれ大勢の参加の下、事業の目的の成果が上がったものと実感。</p> <p>課題として、1. スタッフが施設体験者に伝える内容を検討 2. スタッフの適正な配置を考え、施設管理者の負担を軽減。</p> <p>さらに充実した事業に繋げて行きたいと考えます。</p> <p>多くの方々のご支援で無事終了しましたことに感謝致します。</p>

第7回よどがわ河川敷フェスティバル

河川レンジャーブース アンケートの集計

実施日:平成20年10月19日(日) 実施場所:淀川河川敷公園

年齢別・男女別 集計総数

総計		1~10	20	30	40	50	60	70	80以上	
	男子	47	4	14	9	4	5	3	0	86
女子	45	6	16	5	8	15	1	0	96	
合計		92	10	30	14	12	20	4	0	182

地域別(年齢別・男女別) 集計

<淀川区内合計>

		男・女	1~10	20	30	40	50	60	70	80以上	
淀川区内	男子	36	4	4	5	2	4	3	0	58	
	女子	37	1	8	4	7	14	1	0	72	
合計		73	5	12	9	9	18	4	0	130	

地域別(年齢別・男女別) 集計

<大阪市内合計>

		男・女	1~10	20	30	40	50	60	70	80以上	
市内	西淀川	男子			1	1					2
		女子	2								2
	東淀川	男子	2			1					3
		女子	1		1			1			3
	福島	男子			1						1
		女子			1						1
	阿倍野	男子	1		1						2
		女子			1						1
	中央	女子		1							1
	北	男子	2			1					3
	住吉	女子			1						1
	住之江	女子		1							1
女子			1							1	
市内	男子	5		3	3					11	
	女子	3	3	4			1			11	
市内合計		8	3	7	3	0	1	0	0	22	

地域別(年齢別・男女別) 集計

<大阪市外合計>

		男女	1~10	20	30	40	50	60	70	80以上	
市外	茨木	男子	1		1						2
	宝塚	男子					1				1
		女子					1				1
	神戸	男子			1						1
	岸和田	男子			1						1
	富田林	男子					1				1
	姫路	女子			1						1
	東大阪	女子			1						1
	伏見区	女子		1							1
	三田	女子			1						1
	守口	男子	1								1
	吹田	男子	2			1					3
		女子	1		3						4
	堺	男子			1						1
		女子		1							1
	豊中	男子	1						1		2
女子		2		1						3	
伊丹	男子	1								1	
	女子	2			1					3	
市外	男子	6		7	1	2	1			17	
	女子	5	2	4	1	1	0			13	
合計			11	2	11	2	3	1			30

*あなたは「河川レンジャー」を知っていますか。

	男性	女性	合計
知っている	26	26	52
知らない	60	68	128
無回答	1	1	2
合計	87	95	182

*「河川レンジャー」の活動を知っていますか。

<例えば>

- ・自然の保護
- ・各種啓蒙・心の在り方の研究
- ・きれいにしてくれる人々
- ・干潟探検
- ・土壌づくりなど
- ・川のそうじ。生き物の調査等。
- ・防災
- ・河川の見守り
- ・河川のことを伝えている
- ・生涯学習の中の取り組みとして参加
- ・十三中学校の人に防災スクールを開いている
- ・川をきれいにする人。
- ・河川清掃。生き物観察
- ・環境学習。防災普及啓発。河川環境保護
- ・河川敷のグリーン(ごみ拾い)運動
- ・フェスティバルでの啓発活動
- ・役所と民間の意見を協働で生かしている人たち。

* 浸水時の水中歩行・体験コーナーに参加して。

良かった	151	普通	25	悪かった	2	無回答	4	合計	182
------	-----	----	----	------	---	-----	---	----	-----

<例えば> 原文を記載

- ・いきなり深くなったりしていたこと。
- ・体験が困難だとわかった。
- ・へたにドアを開けて出ないようにしたい。
- ・気持ち良かった。
- ・浸水したときの戸の水圧が強かった。
- ・いろいろの物が下にあった。 2
- ・いつもはできない体験をできた。
- ・予想以上に大変。常備すべきものが分かった。
- ・水がにごると下が見えず 不安なことが経験出来た。
- ・にごった水の中を歩く怖さを再認識できた。
- ・歩くのが思ったよりむずかしかった。
- ・水の怖さがよくわかった。
- ・参考になった。
- ・実感できた。
- ・両面のささえがあるのが現実離れでは。
- ・初めてのことであったので少し予想が出来た。
- ・中が見えないにごった水のところを歩くのはこわかった。
- ・水にぬれて気持ち良かった。
- ・もしもの時にためになった。
- ・意外と歩きにくかった。今まで人事に思っていました。
- ・ニュースで見るが、実感できないので体験することにより、より危険度が分かり良かった。
- ・水害時の場面に合わせたシュミレーションは、もしかの時に対応できるきっかけになると思います。
- ・水害にあったことはありませんが、実際水のたまったところを歩くのは困難というのが分かりました。
- ・体験コーナーには手すりがあるからやっとならずに歩けると分かった。
- ・おもしろかった。 11
- ・こわかった。 4
- ・楽しかった。2
- ・水害のこわさと実体験した。
- ・なにか いっきにドボンとしずんだ。
- ・石があつてこわかった。
- ・初めて体験出来たので良かった。
- ・いつも ふつうにあるいているからいい体験になった。
- ・下が見えない。
- ・あぶないのがわかった。
- ・いろいろなことがわかった。
- ・こわかった。 実際になった時のためになった。 2
- ・歩行は沢登より楽だったけどドアはまず体験できない。
- ・水もとが見えないと、障害物が見えなく大変だから。
- ・水圧のすごさにおどろいた。
- ・歩きにくさがよくわかった。
- ・めっちゃすごかった!!! 3
- ・やばかった!

* パネル展示について.

参考になった	58	普通	52	参考にならない	3	無回答	69	合計	182
--------	----	----	----	---------	---	-----	----	----	-----

<例えば> 原文を記載

- まちより高い所を流れる淀川
- 自分の家の位置が分かった。
- 渡れ想定地域が知った。
- しらないとりがいた。
- 淀川にもたくさんトリが飛んできていることが分かった。
- 淀川区が低い所にあることをまた実感した。
- 災害について分かった。
- 希少な鳥
- 経験することがない為

* 河川レンジャーコーナーに参加して.

<自然や防災に対する意識の変化はありましたか？>

変わった	70	少しは変わった	76	変わらない	12	無回答	24	合計	182
------	----	---------	----	-------	----	-----	----	----	-----

<例えば> 原文を記載

- 準備品など
- 水の力はこわいなあと 実感した。
- 大雨の水量を気にしていきたい。
- ドアがあかなくてこわかった。
- 良い体験ができました。
- 水の力の強さ。 2
- つえ 長靴はぜったい持っておくべき。
- 歩けたけど、引きもどされる感じがした。
- がんばろう
- 常日頃、注意しとく事が大事。
- 水に対する意識。
- 災害時の対応・水圧のすごさ。
- 水圧のすごさにおどろき すぐ逃げようと思いました。
- 防災訓練をして3人で100キロが動くと言ったことが分かった。
- ドアにかかる圧力は予想できないことだなあと感じました。
- 水圧の強さにおどろきました。
- ドアを先に開ける。
- 水害の恐ろしさを再認識。
- 災害に気を付けようと思った。
- つえのようなもので探りながら歩こうと思う。
- がんばらなあかんあつて思った。
- 思っていたより、強かった。
- とても楽しかったです。
- 家の場合を考えるきっかけになった。
- 防災に対する心がまえが出来た。
- たいへんだと...
- 心だんから地域のみんなで考えることが大切と思った。

* 河川敷や川についての感想.

<感想> 原文を記載

- ・水圧の怖さを身をもって体験できて勉強になった
- ・河と平和にくらしていきたいです。
- ・パーベキープースが気になる。
- ・野犬をどうにかしてほしい。 2
- ・憩いの場として整備をしてほしいです。
- ・もっと河川敷に来てみようと思いました。
- ・こんなイベントはいいなと思います。
- ・こわいと思います。
- ・本当になったらこわいなあと思った。
- ・大坂の中の大自然を大切にしていきたい。
- ・水をなめてはいけなと思った。
- ・みずにきをつけようとおもいました。 5才
- ・水害の怖さを痛感。
- ・淀川大好きで～す。
- ・風がきもちよくいいと思います。
- ・これからは、川や海をきれいにしていきたい。 10代
- ・たのしかった。 4
- ・川がどろ汚い。 2
- ・水の恐さを知った。
- ・また、して下さい。
- ・とてもいい体験になりました。
- ・あぶないのがわかりました。
- ・水の力はすごいと思った。
- ・ぶくぶくでてきたところが楽しかった。 8才
- ・大がかりな体験です。ありがとうございました。
- ・ドアが重かった。
- ・こけそうだった。
- ・いつでもきれいな美しい川を保ってほしいですね..
- ・大坂の川はにごっているのもっとみんなできれいにしたい。 10代
- ・これからも安全にしていけることが大切だと思いました。
- ・ニュースでしか見ていなかったことが 実際に体験して改めて危機感を感じた。
- ・災害があったときにどう対応するか地域で学習活動を続けたい。
- ・ときどきここに来るんですけど、あまり川のほうを見ないので、こんどは川で「なんか」してほしいです。10代
- ・いつまでもあってほしい風景です。みんなで大切にすべきです。
- ・ボランティア活動など、もっと色々なお知らせが欲しい「広告など」
- ・淀川がきれいになると嬉しいです、いつも河川活動みなさまありがとうございます。
- ・常に、きれいにたもった方がいいので よごさないようにしてほしい。
- ・夏前に体験があればいいなあ...
- ・いつまでも、鳥や虫の射る自然がいつまでもこのようにしてほしい。
- ・水際がもっと普通の川らしくあるとよい。堤防と堤防の間は「川」でよい。
- ・淀川区にこんな公園があると知らなかった。
- ・こども会・老人会などにも積極的に参加してほしい。


10. 辻川レンジャー活動実施報告・平成 21 年 1 月 26 日(月)

10.1 実施状況

<テーマ:>リバーウォッチャー「淀川探検隊」

テ ー マ	自分の住むまちの自然（淀川）にふれて・見て・知る		
担 当	福島出張所管内	河川レンジャー 辻川レンジャー	
開催日時	平成 21 年 1 月 26 日（月）11：30～15：45		
参加人数	参加総数	97 名	
	一般参加者（生徒総数）	83 名	市立野中小学校 4 年 1・2・3 組
	教職員	5 名	
	スタッフ	5 名	PTA 野中地区防犯会
	淀川区役所	1 名	
	福島出張所 運営事務局	1 名 2 名	
スケジュール	<p>11:30 市立野中小学校 校門前に集合</p> <p>11:45 スタッフミーティング・準備</p> <p>12:39 開会宣言</p> <p>12:41 教頭先生の挨拶</p> <p>12:44 クラスごとに淀川の河川敷に向かう</p> <p>13:13 辻川レンジャーの講話（堤防・摘み草園・淀川の野鳥・ヨシ原）</p> <p>14:31 西中島再生干潟に到着後、水質調査の実施</p> <p>15:41 小学校に到着</p> <p>15:42 学校による講評</p> <p>15:45 スタッフのみ、会議室に戻り講座を振り返る。解散 解散</p>		
実施場所			

10.2 事前活動

<p>各種資料</p>	 <p style="text-align: center;">行程表 (全2枚)</p> <p style="text-align: right;">水質指標一覧表</p>
<p>関係機関からの支援内容</p>	<p>淀川区役所 スタッフ協力</p> <p>淀川河川事務所 必要物品の貸与 必要資料の提供 パックテストの提供</p>
<p>レンジャーの活動内容</p>	<p>実施計画の立案 実施日、実施内容の検討</p> <p>広報活動 小学校訪問等による広報</p> <p>必要物品の準備 各関係機関への貸与、提供の依頼 配布資料、アンケートの作成 関係機関への資料提供依頼</p> <p>関係機関との調整 スタッフ協力依頼 小学校、関係機関との事前打合せ</p> <p>活動の実施 開会、閉会の挨拶 司会進行 説明 児童との交流 アンケート集計</p>

10.3 活動状況



スタッフ 野中小学校の校門前に集合



スタッフミーティング・準備



辻川レンジャーの開会宣言及び注意事項



教頭先生の挨拶



各クラスで、淀川河川敷へ出発



辻川レンジャーの講話(野鳥と干潟・ヨシ原)



淀川(十三干潟近く)の野鳥



生徒が河川敷を歩いている様子



十三干潟とヨシ原の様子



西中島再生干潟に到着 水質調査の実施



ヤマトシジミを取っている生徒達の様子



学校に到着 学校より講評



スタッフの解散

10.4 意見・課題

参加者からの意見	次項よりアンケート結果掲載
今後の課題	<p>多くのサポーターと暖かい日に恵まれ、無事に事業が実施出来たことを嬉しく思います。また、係わって頂いた多くの方に感謝致します。</p> <p>事業内容は、事前学習がなされており、子供達はしっかりと内容を受け止めていたように感じましたが、子供達が衝撃だったことの一つに、野犬やブルーシートの多さ、さらに足元のごみの多さです。都会(下流)特有の課題を解決するために研鑽に努めたいと思います。</p>

リバーウォッチャー「淀川探検隊」

大阪市立野中小学校 4年生

平成21年1月26日（月曜日）実施

アンケートのまとめ

参加者	83名	回答	80枚	回答率	約96%
-----	-----	----	-----	-----	------

* あなたはこれまでに、淀川に行ったことがありますか？

ある	73	ない	8
----	----	----	---

* あなたはこれからも、淀川に行きたいと思いますか？

はい	71	いいえ	10
----	----	-----	----

* あなたは今日の話で、どのようなことに興味をもちましたか。

干潟について	37	堤防について	12	水質について	36
ヨシ原について	28	再生干潟・ワンドについて	16	ゴミについて	35

* あなたは、よどがわについてどのようなことを知っていましたか？

＜原文を記載＞尚、（ ）書きについては重複文及び補足を書入。			
・淡水と海水が混ざりあうところ。	2	・ヨシ原があること。	3
・干潟があること。	3	・大阪湾に流れていること。	2
・ゴミがいっぱいあること。	13	・ユリカモメやカニなどの生き物がいること。	2
・淀川の水は琵琶湖からきている。	19	・淀川の水は柴島浄水場に運ばれている。	1
・貝（シジミ）が取れること。	14	・カニがとれること。	3
・魚が取れること。	3	・いろいろな草花や生き物がいること。	8
・ホームレスいっぱいいること。	3	・野犬がいること。	4
・堤防の工事をしていること。	2	・公園があったこと。	2
・ブラックバスやブルーギルがつれること。		・淀川の水はそんなに綺麗じゃないこと。	
・生き物がいて冬はあまりみかけないこと。		・たこをあげる人がいること。	
・7月（正しくは、8月）に、花火大会があること。		・昔と今とくらべて細かったということ。	
・十三干潟はめずらしいこと。		・生き物が住みやすいこと。ゴミを捨てない。	
・あまりよく知りません。		・ヨシが水をきれいにしていること。	
・淀川には、いっぱい鳥が飛んでいるのを知っていた。			11
・デ・レーケが淀川をつくりかえたこと。（汚かった淀川をきれいに覚えてくれたこと）。			10
・淀川は、木津川と桂川と宇治川が合流した川ということを知っていた。			8
・草や葉などがいっぱいあり、遊具もある。コスモスなどがさく。花や三つ葉などがさく。			2
・鳥の仲間で、コチドリ・ユリカモメ・コガモ・ダイサギ・オオヨシキリがいたこと。			
・7月～9月に、カマキリやトノサマバッタがいることと、たまーに ピンク色のショウリヨウバッタがいること。			
・カラスが食べ物をさがしに淀川にくることをした。			
・パンフレットを（よどがわ発見☆伝）を見て、淀川には鳥や魚がいることを知っていた。			
・淀川は海水の水と川の水が合体していること。（汽水域）			
・ヨシ原をさいせいしていること。（正しくは、再生干潟）			
・電池やカミソリのゴミが落ちていることを知っていた。			
・泥やごみで汚れていること。淀川に生涯をささげた男がいたこと（沖野忠雄）昔は洪水をおこす川だったこと。淀川にはたくさん鳥が住んでいること。			
・昔はデ・レーケという人がたいへんしごとをしていて、何十年間も淀川の工事をして、デ・レーケは一度もミスをせず、湖や淀川をあいしていたが、さいしょに子どもがしんでデ・レーケ人が頑張って淀川の水をきれいにしている、デ・レーケは有名なひとだったことを知っていた。			
・おばあちゃんがそこ（淀川）の近くにすんでいる。犬をかっていていつも淀川にいっしょに行く。川の方へ行って、石なげをして遊んだ。夕日がおちるところがすき。			
・ヨシがあること。デ・レーケが、淀川をみんなの安全を考えながら作って、大きな港も大きな船が入るために使った。			
・魚が多く生息している事と、ブラックバスなど外国から来た魚もいる、ゴミが良く流れてきていること、貝の種類が多くいるし、鳥が多くいることを知っていました。			
・いろいろな生き物がいて、水が満ちたり引いたりすることなど、水がきれいなままなことや、ヨシの草がすごくはえていたり、夏と冬ではすごくちがったりしていること。			

*淀川について、知っていることを書いてください。

・シジミ(貝)がいっぱいあった。	5	・海に近いこと
・ゴミの中に犬がいる。	2	・干潟は満月や新月に関係していることが分かった。
・魚がすみやすい水になっている。	2	・工事をして芝生にしていること。
・淀川を変えた人はデ・レーケである。	3	・淀川は琵琶湖から流れている。
・かつら川、木津川、うじ川が合流して出来た川。	2	・鳥や生き物がいっぱい生きていること。
・ゴミがたくさんあること。	8	・淀川は塩からいところがある。
・干潟でシジミや魚がいることを知った。	2	・サギなどの鳥もいる。
・ユリカモメを初めて見た。	1	・淀川は、季節ごとに違う鳥がいることが知った。
・淀川は酸性で生き物がじゅうぶんすめて、あまりきれいでないと言うのをおそわった。	3	
・もっと淀川をきれいにしたいから、淀川へのゴミのポイ捨てをやめる。	2	
・淀川には魚などがすめる。鳥が淀川にあつまっていた。	2	
・冬の鳥がほとんど見られなかったのがショックだった。ウナギやアユなどの魚を見たかったです。		
・淀川にはゴミを捨ててはいけないと思ったし、淀川にはいろいろな生き物がいるのも知らなかった。		
・ゴミがたくさんあってすごくびっくりしたから、淀川がきたなくなるまでに淀川をきれいにしたいです。		
・淀川にゴミがいっぱいあったのを見たのできれいにしてほしいと思った。		
・ちまきはヨシの葉から出来ているのをはじめて知った。		
・ヨシ原は自分の身長より高いからすごいなあと思いました。シジミがたくさんあったのがすごかった。		
・今はこわくないが、淀川は昔はこわかった。いろいろな魚がいることがわかっていて、魚がいっぱいいること。		
・昔は淀川で泳げていた。昔は大坂の水がくさかった。		
・鳥がいた。シジミもとれた。道が土だったけどすごく固かった。ウナギもとれる。		
・淀川にはいっぱい鳥がいる。ヨシ原がすだれになる。ヨシ原は夏と冬の色が全然違う。貝がいっぱいあった。		
・ゴミがたくさんあったこと。淀川にいる鳥の名前が少しわかった。シジミがおちていたこと。ヨシがあったこと。		
・草はなつになるとみどりになって、秋になるとちやいろくなることがわかりました。		
・花がつめるのを知っていたけれど、ヨシは水をきれくするのは知らなかった。		
・淀川でヤマトシジミ(べっこうしじみ)がたくさん取れることがわかった。		
・ゴミも犬も色々な物や生き物が捨てられていたこと。ヨシ原をきいたらすだれになること。		
・淀川にはみんながすてたゴミがたくさんあったのでどうしてゴミばこに捨てないのだろうと思った。		
・淀川をきれいにするには、ゴミをポイ捨てせずに、家にもってかえってすてる。ゴミひろいもする。		
・十三に干潟があったこと。ヨシ原がいっぱいあったこと。淀川の堤防を強くするための工事。		
・いつもじゃないけど、魚がとぶこと、またおばあちゃんちに行くと鳥がいっぱい飛んでいる。		
・友だちが淀川で、ウンチをしていたのにきれいとはびっくりした。		
・淀川は、琵琶湖からきてたって知って、勉強になった。ヨシ原が食べれるってすごいと思った。あと、非常食なんだと思った。淀川の悪いところは、ゴミだらけだということ。自然がかわいそう。		
・いろんな人が淀川にゴミをいっぱいほって淀川にいる鳥たちがかわいそう。ヨシ原のヨシでちまきをまいていること。	2	

<p>・教科書ににっているように、川を見るとコチドリなどがいて「本当にいるんだなあ」と思いました。淀川についてのことを知れて良かったです。</p>
<p>・淀川の整備をしていたこと（補強工事）。カニがいること。季節になるとうなぎが取れること。ヨシ原の葉っぱが、ちまきをつつんでいること。</p>
<p>3</p>
<p>・あんなにいっぱいゴミがあると、美味しい空気がきたない空気になるから、淀川に行ったらゴミはきちんと持って帰る、もちろん他の場所でも。</p>
<p>・干潟にいる貝の名前はヤマトシジミで食べれることを知り、ゴミだらけの淀川を見てやっぱりポイ捨てはダメだと思いました。（前まではチヨットだけポイすてをしていました。）淀川をみてすごいいいお勉強になりました、ありがとうございました。</p>
<p>・しおがひくことと、ヨシ原があることと、川の水と海の水が混ざりあった事が知らなかったのでびっくりしました。それに、鳥のくちばしと鳥のみずかきが違うのも知った。</p>
<p>・ゴミはポイ捨てしたらだめ、シジミとかがいることをはじめて知った。淀川は65km（正しくは、75.1）ぐらいあるってすごいと思った。</p>
<p>・ゴミが多い場所もあったけど、きれいにされているところもあった、補強工事をしているところもあった、野犬もいた。</p>
<p>・淀川にあんなにゴミがあったのはしらなかったし、野犬もいると聞いてびっくりしました。ほかに、捨て犬やホームレスもいていました。でも、シジミもありました。みんなは持って帰ったけれど私は持って帰りませんでした。でも、また行きたいと思っています。</p>
<p>・すごくゴミがあつてびっくりしました。淀川には行ったことがあるけど、あんなにゴミがあるなんて知らなかったです。それに、たくさん生き物がいてびっくりしました。干潟も初めて見ました。ヨシ原もあまり知らなかったのでもち勉強になりました。本当にありがとうございました。</p>
<p>・いえを守るために工事がやっていた。貝がらが、いっぱいあつたのが知らなかった。ホームレスがいっぱいたのが知らなかった。犬がいっぱいたのが知らなかった。</p>
<p>・干潟と満潮のことと、堤防のことと、鳥がいることと、ヨシ原は夏と冬が変わることを知りました。ゴミがいっぱいあること。淀川の川の水はまあまあ綺麗だと知りました。</p>
<p>・川が汚いということがわかりました。鳥がいっぱいたこと。シジミの貝がらがいっぱいあつたこと。工場では堤防を作っていたこと、ゴミがいっぱいあつたこと。ヨシの葉はちまきをくるんでいる葉だとわかった。</p>
<p>・堤防を強化していることや、十三干潟がめずらしいこと、ヨシが水をきれいにしていること、鳥がむしをとったりしていること、ゴミがいっぱいあつたこと、ヨシの葉はちまきをくるんでいる葉だということ、シジミがおちていること、野犬などがいること、草がとてもしっぱいあつたこと、ゴミもいっぱいあつたけど、家具などもおいてあつたことなどを知りました。</p>
<p>・川にきてシジミがあるとは知らなかった。その場所で川の水をバケツに入れ、いろんな結果が出ていて そんな結果なんだ一と思いました。ヨシ原にはいっぱい迷路の道があつたのは知らなかった。</p>
<p>・鳥の名前とかを教えてもらった。堤防について。ゴミがあんなにあつたこと。ヨシ原のヨシをいろんなものになること。</p>
<p>・淀川の水の色や、水質について良く分かった。海と川の色がつがうことや、水質の事は水の色が変わってよくわかりました。あと工事をしたことが良くわかりました。堤防を強化することがわかりました。ヨシ原のこともすごくわかりました。</p>
<p>・川の近くにはゴムがたくさんあつたこと。ヨシ原では夏になるとみどりいろに変わっていて、冬になるとおうど色のようないろになって、ヨシ原再生中のときにどんなヨシ原がさくのか楽しみです。シジミがたくさんありいろいろな種類や大きさがあつたので良かったです。</p>
<p>・水害を防ぐために土を高くして水害を防ぐためにやっている。小鳥がいっぱいおる。昔からシジミがたくさん取れていた。</p>

<p>・工事をしていた（堤防を強くするため）。大きい石がおすもうさんの2倍の石だった。淀川の川は昔は怖い川だった。ヨシがいっぱいあった。</p>
<p>・満潮がひいて川辺にシジミがいしょに流されたこと。酸性が多いほど色が濃くなり、アルカリが多いほど色が薄くなること（水質調査）。堤防がなかったら川の水があふれ、だいじゅうたいが起きるので補強工事がよくあること。ヨシ原の葉っぱは五月に給食で食べる「ちまき」の葉っぱのものになっていること。</p>
<p>・ゴミがおちていたので、ゴミは持ち帰って欲しい。水をきれいにしたい。鳥がたくさんいた。補強工事をしていた。</p>
<p>・色々な人がゴミをすててほくたちがみたらゴミだらけでした、中にはまだつかえるようなものなどもありました、ちょっともったいないなあと思いました。ヨシの草がかられてわらの小屋みたいになっていました。野犬もいたけどあれは本当に野犬なのかわかりませんでした。鳥もいました群れで飛んでいました。</p>
<p>・生き物がすみやすい。ゴミをすてない。ヨシという草。しじみがある。デ・レーケが淀川の流れを変えた。いま工事をしている。遊び場ができた。ヨシは水をきれいにする。</p>
<p>・水がいっぱいへっていた。カラスがいっぱいいた。かもなどもいた。にごっているけど、魚がすみやすい水になっている。</p>
<p>・ヨシ原は勝手に生えてくるだけじゃなく「人工ヨシ原」というところでは人工でヨシ原を作り水をきれいにしようとしています。再生ワンドでは、鳥などがたくさんやってきてカラスなどの野鳥が飛んできていました。補強工事の為にたくさんコンクリートがありました。淀川はすごくきたなくて、ゴミなどがたくさんありました。それでも昔よりはましになってきているので良かったと思いました。</p>
<p>・デ・レーケは昔は二人組で淀川を守っていた。デ・レーケは一人になって湖や淀川を守っていた。いろいろな工事をし、ついに大阪や自分の国をすくった。デ・レーケは年をとってもいつもやすまずしっかりやっていた。</p>

クラス代表からのメッセージ

<p>4年1組より</p>
<p>淀川たんけんのときは、お世話になりました。色んなことを教えて下さって、どうもありがとうございました。四年一組一同感謝しています。またよろしくおねがいたします。</p>
<p>4年2組より</p>
<p>この前は、いろいろと淀川について教えてくれて、ありがとうございました。淀川にあんなに生きものがあるなんて、知りませんでした。また、きかいがあれば淀川について教えて下さい。淀川が、ゴミでいっぱいでした、もっときれいな淀川にするためにゴミ拾いをしたいと思います。</p>
<p>4年3組より</p>
<p>淀川見学では、たいへんお世話になりました。カモやサギ、アオサギが冬にいっぱいいることがわかりました。これからも、淀川をきれいにするために、ゴミをすてたりしないようにがんばります。</p>




11. 辻川レンジャー活動実施報告・平成 21 年 2 月 15 日(日)

11.1 実施状況

<テーマ：> 淀川流域連携講座

テーマ	<十三 西中島のヨシ刈り>体験		
担当	福島出張所管内	河川レンジャー 辻川レンジャー	
開催日時	平成 21 年 2 月 15 日(日) 9:00~13:00		
参加人数	参加総数	23 名	
	一般参加者	9 名	
	リバーマスター	10 名	
	淀川区役所	1 名	山本係長
	都市文化 運営事務局	1 名 1 名	堀内氏
その他 人数	(有)コミュニティー企 画記者	1 名	タウン誌の取材
スケジュール	<p>8:57 受付開始</p> <p>9:30 辻川レンジャーの挨拶。参加者へ事前説明</p> <p>9:49 淀川河川敷へ出発</p> <p>10:23 到着後、ヨシ刈りを開始</p> <p>11:04 ヨシについての講習</p> <p>11:13 ヨシの区分け作業</p> <p>12:17 終了 参加者は現地解散</p> <p>13:00 スタッフは片付け後、解散</p>		
実施場所			

11.2 事前活動

<p>各種資料</p>	<div style="display: flex; justify-content: space-around; align-items: center;"> <div style="text-align: center;">  <p>今回実施案内資料</p> </div> <div style="text-align: center;">  <p>次回実施案内資料</p> </div> <div style="text-align: center;">  <p>手作りの木の名札</p> </div> </div>
<p>関係機関からの支援内容</p>	<ul style="list-style-type: none"> 淀川区役所・都市文化・・・事業内容の助言 ・募集チラシ作成の協力 申し込み受付 <ul style="list-style-type: none"> ・リバーマスター及び一般参加の ・手作り名札の提供 ・当日の事業運営のサポート タウン誌「ザ・淀川」・・・事業の取材と記載の協力 福島出張所・・・事業実施の為の環境整備 原田レンジャー・・・機具（鎌）等の貸出
<p>レンジャーの活動内容</p>	<ul style="list-style-type: none"> ・事業企画と立案 ・関係機関と日程調整と企画の調整 ・説明資料の作成と準備 ・事前調査（野犬の状況とヨシ原の状況） ・機具の調達（原田レンジャーより借用） ・当日の主旨説明及び進行 など

11.3 活動状況



受付開始



辻川レンジャーの挨拶



参加者に事前の説明をする



淀川河川敷へ出発



現場到着後、ヨシ刈りの開始



参加者のヨシを刈る様子



ヨシを刈った後の状態



ヨシとオギの違いを講習



タウン誌の取材



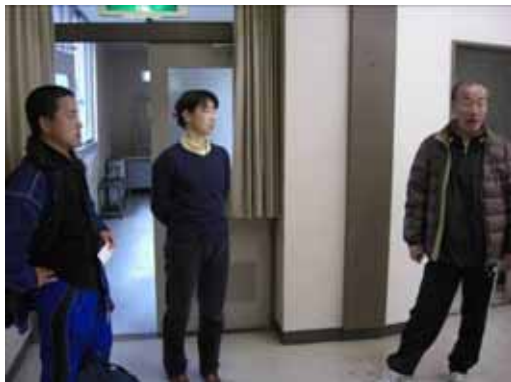
ヨシとオギの区分け作業



今後、区役所でヨシズ作りのために使用する



参加者の集合写真



後片付け後 スタッフ解散

11.4 意見・課題

参加者からの意見	<ul style="list-style-type: none">・堤防から見るヨシ原は美しく壮大に見えるが、実際に足を踏み入れた時、改めて環境保護の大切さを感じました。・ブルーシートやゴミの多さにびっくり。・事業の継続が必要と感じる。
今後の課題	<p>淀川流域連携講座として、区役所をはじめ他組織との連携で定着した事業となり、区民に止まらず区外からの関心も高く、参加者24名の内一般参加者が9名と多くなりました。</p> <p>これも、「ザ・淀川やザ・大阪」の媒体の力と、区役所のご協力が基であると実感しております。</p> <p>当事業がさらに、充実したものになるためにも事業の継続を考えていきたいと思っています。</p>

12. 野路レンジャー活動実施報告・平成 20 年 6 月 22 日(日)・11 月 30 日(日)

12.1 実施状況

< テーマ：淀川大堰・毛馬閘門の見学会 >

テ ー マ	淀川大堰・毛馬閘門の見学会		
担 当	毛馬出張所管内	河川レンジャー 野路レンジャー	
開催日時	平成 20 年 6 月 22 日(日) 13:00～15:20		
参加人数	参加総数	41 名	
	一般参加者 協力スタッフ 淀川資料館 毛馬出張所 運営事務局	28 名(大人 16 名、小人 12 名) 7 名(春風会、地域自治会等) 3 名 2 名 1 名	
スケジュール	13:00	集合(蕪村の碑) 毛馬出張所へ移動	
	13:10	毛馬出張所到着 野路レンジャー、毛馬出張所長寒川氏より挨拶	
	13:20	ビデオ上映 毛馬洗堰の説明	
	13:30	淀川資料館館長 谷崎氏による淀川についてのお話	
	13:40	施設の見学 毛馬排水機～現毛馬閘門～旧毛馬閘門～淀川大堰 淀川資料館館長による案内	
	14:40	蕪村の家へ移動 アンケートの記入と回収	
	15:00	解散	
	15:20	スタッフ解散	
実施場所	 <p>活動場所：毛馬排水機場周辺</p>		

テ ー マ	淀川大堰・毛馬閘門の見学会			
担 当	毛馬出張所管内	河川レンジャー 野路レンジャー		
開催日時	平成 20 年 11 月 30 日 (日) 12:30 ~ 15:30			
参加人数	参加総数	73 名		
	一般参加者 協力スタッフ 淀川資料館 運営事務局	66 名 (大人 34 名、小人 32 名) 3 名 (春風会、地域自治会等) 3 名 1 名		
スケジュール	12:30 13:00 13:20 13:30 14:00 14:50 15:00 15:20 15:30	スタッフ集合 (蕪村の碑) 一般参加者集合・毛馬出張所へ移動 淀川資料館職員による淀川の施設等の説明・ビデオ上映 2 班に分けて、施設内の見学 ポンプ場、操作室の見学 屋外での見学 沖野忠雄蔵 旧毛馬閘門 毛馬の残念石 旧毛馬閘門 3 門 現毛馬閘門 毛馬閘門を航行する舟の見学 毛馬出張所到着 野路レンジャーより終了の挨拶 蕪村の家 (地域防災倉庫兼集会所) へ移動 アンケートの記入と回収 後片付け スタッフ解散		
実施場所				

12.2 事前活動

各種資料	配布資料
関係機関からの支援内容	<p>淀川資料館 講師、スタッフによる案内や説明</p> <p>淀川河川事務所 活動案内の印刷</p>
レンジャーの活動内容	<p>実施計画の立案 5 / 22 見学実施日程打診 (淀川小学校の校長先生と教頭先生、毛馬出張所、町内会)</p> <p>参加の案内 案内状作成 (500 枚) 小学校、地域一般への配布</p> <p>必要物品の準備 関係機関へ貸与、提供の依頼</p> <p>関係機関との調整 6 / 15 春風会に出欠確認と安全行動始動を依頼</p> <p>活動の実施 現地下見 開会、閉会の挨拶 司会進行 参加者との交流 アンケートの作成、回収、まとめ</p>

12.3 活動状況
6月22日の様子



開会 毛馬出張所にて野路レンジャーと、毛馬出張所長による挨拶が行われた



淀川資料館案内員による淀川についてのお話



ポンプ室等館内の見学



毛馬閘門の見学



引き続き淀川資料館案内員による解説



淀川大堰の見学
上からは魚道も見える



毛馬閘門前で閘門の働きについての説明を聞く参加者

11月30日の様子



蕪村の碑前集合



毛馬閘門等の操作施設に入る風景



淀川資料館谷崎チーフマネージャーによる説明



沖野忠雄博士像の見学



旧毛馬閘門の見学



旧毛馬閘門の見学



毛馬の残念石の見学



指定建造物の旧毛馬閘門（3門）

12.4 意見・課題

参加者からの 意見	<p>毛馬閘門の歴史的価値を評価する意見が多かった。</p> <p>水門の機能がよく判った。</p> <p>枚方にも行きたい。</p> <p>ビデオで淀川のことをもっと知りたい。</p> <p>淀川の生き物をもっと知りたい。</p> <p>閘門や大堰の機能はビデオだけではわかりにくい</p>
今後の課題	<p>子供にも分かる言葉で説明して欲しい</p> <p>このような企画を定期的の実施して欲しい</p> <p>配布した資料による説明・案内も行う</p>

13. 野路レンジャー活動実施報告・平成 20 年 9 月 21 日(日)

13.1 実施状況

<テーマ：淀川大堰・毛馬閘門の見学会>

テ ー マ	淀川大堰・毛馬閘門の見学会		
担 当	毛馬出張所管内	河川レンジャー 野路レンジャー	
開催日時	平成 20 年 9 月 21 日(日) 9:00~10:00		
参加人数	参加総数	31 名	
	一般参加者 毛馬出張所 運営事務局	29 名(大人 27 名、小人 2 名) 1 名 1 名	
スケジュール	9:00	集合(毛馬閘門東側 蕪村記念碑前) 野路レンジャーの挨拶と活動趣旨の説明	
	9:05	清掃開始 蕪村記念碑周辺の草刈りを中心とした清掃活動	
	9:45	清掃終了 地域防災倉庫兼集会室「蕪村の家」へ移動	
	10:00	アンケート記入、回収 終了	
実施場所			

13.2 事前活動

<p>各種資料</p>	<p>特になし</p>
<p>関係機関からの支援内容</p>	<p>淀川河川事務所 備品（ビニール袋、手袋等）の提供 啓発物品の提供 集積ごみの処理</p>
<p>レンジャーの活動内容</p>	<p>実施計画の立案 前回、前々回に続き毛馬閘門東門の蕪村の碑付近を中心に清掃美化活動を計画。8/10</p> <p>参加の案内 案内状作成(500枚) 地域住民を主に協力依頼 8/25</p> <p>必要物品の準備 備品貸与の依頼と引き取り 9/16,18</p> <p>関係機関との調整 関係機関との事前打合せ</p> <p>活動の実施 開会、閉会の挨拶 参加者との交流 アンケートの作成、回収、まとめ</p> <p>3/15に同場所で清掃活動 実施予定</p>

13.3 活動状況



蕪村の碑周辺。草刈り中心の清掃。



石碑の拭き掃除。



側道の清掃の様子



刈った草、集めたゴミはゴミ袋にまとめて毛馬出張所が回収。



清掃後の蕪村の碑周辺



清掃後の側道



蕪村の碑に移動後、アンケート記入と回収。

13.4 意見・課題

<p>参加者からの 意見</p>	<p>清掃活動に地域の人と話をしながら参加出来、非常に有意義であった。 今後機会があれば参加したい。</p>
<p>今後の課題</p>	<p>カマを 10 本くらい準備いただいたがもう 10 本位ほしい</p>

14. 原田レンジャー活動実施報告・平成 20 年 5 月 11 日(日)

14.1 実施状況

<テーマ：十三干潟での自然観察>

テ ー マ	城北わんどの自然観察（外来魚の観察）		
担 当	毛馬出張所管内	河川レンジャー 原田レンジャー	
開催日時	平成 20 年 5 月 11 日（日） 9:00～12:45		
参加人数	参加総数	49 名	
	一般参加者	40 名（大人 9 名、 中学生 7 名、小人 24 人）	
	協力スタッフ	5 名（東都島エコクラブ）	
	取材（関西テレビ）	3 名	
	運営事務局	1 名	
講 師	内藤 肇氏 河合 典彦氏		（大阪府水生生物センター） （淀川環境委員会委員、 運営会議座長）
スケジュール	9:00	スタッフ集合・準備開始（資料、受付、釣り用具等）	
	9:40	参加者集合・開会 レンジャーより挨拶と講師の紹介 講師より外来魚とその食性について、わんどについてのお話	
	9:55	釣り用具の配布	
	10:00	釣り開始 菅原城北大橋下付近にて外来魚防除を目的とした釣り	
	12:05	釣り終了・集合 この日はブルーギル 55 匹、ブラックバス 2 匹を捕獲	
	12:10	内藤氏による外来魚の解剖と解説 解剖により外来魚の食性、生態を理解 外来魚がなぜいけないのか、のお話	
	12:30	協力スタッフによるまとめと終わりの挨拶 参加者解散 スタッフ後片付け	
	12:45	スタッフ解散	
実施場所			

14.2 事前活動

<p>各種資料</p>	<div data-bbox="748 237 1128 519" data-label="Image"> </div> <p>配布資料</p>
<p>関係機関からの支援内容</p>	<p>東都島エコクラブ スタッフ協力 必要物品の貸与 淀川河川事務所 必要物品（のぼり等）の貸与 必要資料の提供 河川敷への車両通行許可</p>
<p>レンジャーの活動内容</p>	<p>実施計画の立案 実施日、実施内容の検討 参加の案内 東都島小学校、桜宮中学校への案内 必要物品の準備 関係機関への貸与依頼 関係機関との調整 講師の河合先生、内藤先生及び釣活動の援助をおねがいをした『琵琶湖を戻す会』との事前打合せ等 活動の実施 当日の進行・運営 説明 参加者との交流</p>

14.3 活動状況



原田レンジャーの挨拶のあと、河合氏より外来魚の現状と問題点、わんどについての説明



スタッフによる釣具の準備



菅原城北大橋付近での釣りの様子



この日は水温が低く、通常よりも獲れる魚は少なかった。



この日獲れた中で最大のブラックバス



外来魚の解剖 胃の内容物から魚卵を食べていた事が判明



全長54cmのブラックバス。解剖により産卵直前だったことがわかった。



この日は55匹のブルーギルと2匹のブラックバスを捕獲

14.4 意見・課題

<p>参加者からの 意見</p>	<p>思ったより水がきれいだった。 魚はたくさん釣れたけど外来魚ばかりだった。 イタセンパラが戻ってきてほしい。</p>
<p>今後の課題</p>	<p>参加者の増に対応すべく道具及び釣りの知識を持ったスタッフを増やしたい。</p>

15. 原田レンジャー活動実施報告・平成 20 年 9 月 28 日(日)

15.1 実施状況

<テーマ：十三干潟での自然観察>

テ ー マ	十三干潟での自然観察		
担 当	毛馬出張所管内	河川レンジャー 原田レンジャー	
開催日時	平成 20 年 9 月 28 日 (日) 10:00 ~ 13:00		
参加人数	参加総数	57 名	
	一般参加者 協力スタッフ 福島管内菊井レンジャー 運営事務局	47 名 (大人 13 名、小人 34 名) 8 名 (東都島エコクラブ) 1 名 1 名	
スケジュール	10:00 10:05 11:00 12:30 13:00	西中島高水敷集合 菊井レンジャーによる野鳥の説明 十三干潟へ移動 シジミ取り、カニ、カメ等水に棲む生き物の採取 菊井レンジャーによる雑草、カニ等の説明 解散	
実施場所	 <p>観察範囲： 十三干潟～柴島干潟</p>		

15.2 事前活動

<p>各種資料</p>	
<p>関係機関からの支援内容</p>	<p>東都島エコクラブ スタッフ協力 必要物品の貸与</p> <p>河川事務所 河川敷への車両進入許可 河川レンジャー旗借用</p>
<p>レンジャーの活動内容</p>	<p>実施計画の立案 企画、立案し関係者（学校・NPO）と調整し最終案とする</p> <p>参加の案内 学校・NPO への案内</p> <p>必要物品の準備 備品や資料提供・印刷の依頼</p> <p>関係機関との調整 スタッフ協力など</p> <p>活動の実施 当日の進行・運営</p>

15.3 活動状況



集合



野鳥の説明風景



十三干潟に移動



十三干潟でシジミの採取



干潟の潮が引いていく中でのシジミ等の採取



水生生物の観察



捕獲したカメ



菊井レンジャーにとる草花の説明

15.4 意見・課題

<p>参加者からの 意見</p>	<ul style="list-style-type: none">・ 梅田のすぐ近くでシジミが採れる干潟があるのはすばらしい。・ クロベンケイガニ、アシハラガニを捕まえられてうれしい。・ 来年も参加したい。
<p>今後の課題</p>	<p>・ 河川レンジャー活動以前を含めると今年で5年目となります。参加者数増加への対応や活動の幅を広げる為次回は干潟周辺の活動場所が整備されている柴島再生干潟への移動も含め検討したいと思います。</p>


16. 原田レンジャー活動実施報告・平成 21 年 1 月 24 日(土)

16.1 実施状況

<テーマ：鶴殿のヨシ原を保全しよう>

テ ー マ	葦刈り		
担 当	毛馬出張所管内 山崎出張所管内	原田レンジャー 谷岡レンジャー	
開催日時	平成 20 年 1 月 24 日 (土) 9:40 ~ 16 : 00		
参加人数	参加総数	35 名	
	一般参加者 協力スタッフ 運営事務局	31 名 3 名 (東都島エコクラブ) 1 名	
講師	小山 弘道氏 (鶴殿ヨシ原研究所) 大倉 昌之氏 (昆虫研究家)		
スケジュール	9:40 10:05 10:18 10:30 10:50 11:30 12:00 12:30 12:45 13:30 14:10 15:00 15:30 16:00	山崎出張所にてレンジャー、スタッフ集合 ミーティング、用意 開会 講師、協力者紹介、勝小津の説明 (2 ヲ所でヨシ刈りを行う) 現地へ向けて出発 導水路上流：谷岡 R、原田 R、大倉講師、原田班 切り下げ地：小山講師、谷岡班 導水路上流 子どもたちへのカマの扱いについての説明 準備体操を行ってヨシ刈りを開始 切り下げ地 小山講師、谷岡班はヨシ刈り・ヨシ集めを実施 導水路 ヨシ刈りの終了、切り下げ地に向けて出発 切り下げ地に到着、合流・昼食 小山先生によるお話：ヨシ原の自然・人の利用で守る・ヨシの調べ方 大倉氏によるヨシ風揚げ 子どもたちを中心に 谷岡班はヨシ刈り・ヨシ集めを継続 原田班切り下げ地を出発・山崎出張所へ 原田班 山崎出張所にて閉会、解散 谷岡班 ヨシ刈り終了・山崎出張所へ 谷岡班 山崎出張所にて閉会、解散 スタッフ後片付け	
実施場所			

16.2 事前活動

各種資料	
関係機関からの支援内容	<p>東都島エコクラブ スタッフ協力 広報協力</p> <p>淀川河川事務所 広報、資料の印刷 パンフレットの提供、備品の貸与</p>
レンジャーの活動内容	<p>活動計画の立案 実施日、実施内容の検討</p> <p>参加の案内 東都島エコクラブ、都島区内小中学校への広報</p> <p>必要物品の準備 各関係機関へ貸与の依頼 配布資料の提供依頼</p> <p>関係機関との調整 事前打合せ</p> <p>活動の実施 開会、閉会の挨拶 説明 状況の把握 参加者との交流</p>

16.3 活動状況



山崎出張所で集合



谷岡レンジャーより活動の説明



導水路へ移動



ヨシ刈りの注意と実演



準備体操



ヨシ刈りの様子



ヨシ刈りの様子





簡易トイレの設置



切り下げ地へ移動



切り下げ地に到着、合流



小山講師より鶴殿のヨシ原についての説明



ヨシ凧揚げの様子



ヨシの軸にポリ袋を貼って作った凧。高く揚がった。



大倉講師によるヨシ凧揚げ。実演



ヨシ刈り集め。風景

16.4 意見・課題

参加者からの意見	<ul style="list-style-type: none">・ 厳しい寒さであったが葎刈りは楽しかった。・ 自分で刈った葎を使って行なう3月の活動が楽しみ・ もう少し長い時間葎刈りをやりたかった。・ 簡易トイレは非常に役にたった。・ 風が高く上がって楽しかった。次は自分でも作りたい
今後の課題	<ul style="list-style-type: none">・ 鎌が3人に1本程度しか用意できていないので、来年に向けて2人に1本程度用意したい。・ きり下げ地までおよそ2kmあり小学生低学年には少し厳しかったようです。来年は導水路上流を中心に葎刈りの中心に行いたいと思います。・ 今回は山崎出張所管内の谷岡Rと共同で実施しました。谷岡Rのご尽力で、今まで以上に有意義な活動を行なえたと思います。来年以降も連携して更なる進化を遂げたいと思います。

17. 原田レンジャー交流イベント実施報告・平成20年5月25日(日)

17.1 実施状況

< 淀川河川事務所より協力の依頼を受け、出展 >

テーマ	淀川三川ふれあい交流イベント（葦を使った工作・木津川の魚たち）	
河川レンジャー	毛馬管内 原田レンジャー 高槻管内 中島レンジャー 山崎管内 谷岡レンジャー 木津川管内 山村レンジャー	
開催日時	平成20年5月25日(日) 8:30～16:30	
参加人数	参加総数	約93名
	一般参加者 協力スタッフ センター河川レンジャー 淀川河川事務所 運営事務局	約80名 7名（葦工作・東都島エコクラブ） 2名（木津川の魚たち） 1名 2名 1名
スケジュール	<p>8:30 スタッフ集合・ミーティング 川の水量増加のためメイン会場のみでのイベント実施に決定 （AM7:00時点で投網を使った魚とりは中止の判断） 設営開始</p> <p>9:30 イベント開始 原田レンジャー・谷岡レンジャー...葦を使った工作 鵜殿で刈ったヨシを用いたコースターの制作 中島レンジャー・山村レンジャー...木津川の魚の紹介 木津川でとれた魚の展示と来場者への紹介、説明</p> <p>16:00 イベント終了 後片付け</p> <p>16:30 後片付け終了・スタッフ解散</p>	
実施場所		

17.2 事前活動

関係機関からの支援内容	東都島エコクラブ スタッフ協力（葦工作の指導など） 備品の貸与 やましる里山の会 スタッフ協力（魚とり、備品の運搬など） 備品の貸与
レンジャーの活動内容	河川レンジャーの協力内容 必要物品の準備 関係機関への貸与、提供依頼 関係機関との調整 関係機関へのスタッフ協力依頼 活動の実施 設営、準備 受付 説明 参加者との交流 後片付け

17.3 活動状況



設営の様子



淀川河川公園背割堤地区に設けられたメイン会場



原田レンジャーと協力スタッフ（東都島エコクラブ会員・OB）指導により行われた葦工作



谷岡レンジャーによる工作指導



中島レンジャー、山村レンジャー中心に木津川に棲む魚をはじめとする生き物を解説



水槽で展示された魚は参加者の注目を集めた



木津川の支流である防賀川でとれたミシシッピアカミミガメとウシガエルの紹介



撤収の様子

18. 辻川レンジャー講演活動実施報告・平成20年8月25日(月)

18.1 実施状況

< 淀川河川事務所より協力の依頼を受け、講演実施 >

テ ー マ	水害に強いまちづくり協議会での講演	
河川レンジャー	福島管内 辻川レンジャー 桂川管内 柳沼レンジャー	
開催日時	平成20年8月25日(月) 15:00~16:30	
参加人数	淀川河川事務所職員 および自治体職員 運営事務局	約30名 1名
スケジュール	15:00 15:05 15:30 15:50 16:20 16:30	淀川河川事務所・調査課より挨拶 辻川レンジャーによる講演 レンジャー活動を通じた、水防に関するまちづくりの実例について 柳沼レンジャーによる講演 河川レンジャー活動における地域での防災意識啓発の取組みの紹介 水害史調査、普及活動、かわみで見えてきたこと 元淀川左岸水防組合・裕永氏による講演 水害の歴史・水防団について 質疑応答 終了
実施場所		

18.2 活動状況



調査課より挨拶



辻川レンジャーによる講演



パワーポイントを使用し、自身の活動を
紹介



柳沼レンジャーによる講演



自己紹介の後、自身が係わってきた水防
活動を紹介



閲覧資料：防災カルタ

